

令和元年度
教育委員会事務の点検・評価報告書
(点検・評価実施年度：令和2年度)

令和2年10月

豊川市教育委員会

目 次

I	点検・評価の概要	1
II	基本目標と施策別の取組一覧	3
III	評価シート	
1	【基本目標1】豊かな心と健やかな体を育む教育を実現します (シートNo.1～15)	7
2	【基本目標2】社会の変化に応える確かな学力を育成します (シートNo.16～28)	22
3	【基本目標3】豊かな人生を自らが築く生涯学習社会を確立します (シートNo.29～38)	35
4	【基本目標4】魅力ある教育環境づくりを進めます (シートNo.39～53)	45
IV	点検・評価結果の集計	60
V	目標指標の状況	61
VI	参考資料	
1	教育委員会会議	65
2	第2期豊川市教育振興基本計画(概要版)	68

I 点検・評価の概要

1 目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）第26条第1項の規定に基づき、豊川市教育委員会が、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、より効果的な教育行政の推進を目指すとともに、その結果を公表し、市民の皆様への説明責任を果たすことを目的とするものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の方法

平成29年3月に策定した「第2期豊川市教育振興基本計画」（以下「計画」という。）に掲げる取組のうち、令和元年度に実施した事業を点検・評価の対象としました。

点検・評価にあたっては、計画で定める施策の方向性を念頭に置きながら点検・評価を行うため、計画に掲げる四つの基本目標と施策別の主な取組のうち、主要事業を対象とする評価シートを作成し、点検・評価を行いました。

取組ごとに作成した各評価シートは、7ページ以降に記載しています。

3 学識経験者による知見の活用

学識経験者の方から評価や意見等をいただくため、豊川市教育行政事務点検評価委員会を開催し、点検・評価を行いました。

(1) 点検評価委員会委員名簿

(敬称略)

氏名	役職等
小林 康典	元豊川高等学校長
梅村 賀代子	元市民と行政の協働推進委員
村松 あさ子	元公立小学校長

(2) 点検評価委員会の開催状況

第1回 令和2年8月4日(火)

議題

- ① 令和元年度豊川市教育委員会事務点検・評価報告書について

第2回 令和2年9月25日(金)

議題

- ① 点検評価委員の評価及び意見等(案)について

(3) 点検評価委員会設置要綱

豊川市教育行政事務点検評価委員会設置要綱

(設置及び目的)

第1条 豊川市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条第1項に規定する教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行うにあたり、同条第2項の規定により教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するため、豊川市教育行政事務点検評価委員会(以下「点検評価委員会」という。)を設置する。

(職務)

第2条 点検評価委員会は、毎年、次に掲げる事項について点検するとともに、その成果及び課題を整理して、教育委員会に報告するものとする。

- (1) 教育委員会の基本方針として年度毎に定めた主要施策に関すること。
(2) 前号に掲げる事項のほか、教育委員会の諸施策や事務事業に関すること。

(組織)

第3条 点検評価委員会は、委員3人以内で組織する。

2 委員は、教育に関し学識経験を有する者のうちから、教育委員会が委嘱する。

3 委員の任期は、委嘱した日の属する年度の末日までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第4条 点検評価委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、それぞれ委員の互選によってこれを定める。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を統括する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 点検評価委員会の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 点検評価委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて、意見を聴取し、又は必要な資料等の提出を求めることができる。

(庶務)

第6条 点検評価委員会の庶務は、教育委員会庶務課において行う。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、点検評価委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年 1月23日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年 4月 1日から施行する。

II 基本目標と施策別の取組一覧

基本目標 1 豊かな心と健やかな体を育む教育を実現します

自分と他者を大切にする豊かな人間性を備え、やさしさに満ちた人を育成するためには、家庭や地域、学校、行政が一体となって、子どもたちの豊かな心と健やかな体を育む教育が必要です。

- 地域との連携による家庭教育や子育てを支援します。
- 社会のルールを守り、互いを尊重し合う道徳心や人権意識を育みます。
- 様々な価値観や知識を学ぶ体験活動や読書活動を推進します。
- 命を支える子どもの体づくりを推進します。
- 先人の心を受け継ぐ歴史・文化の伝承と新たな文化の創造に取り組みます。

施策別の取組

施策	主な取組	主管課	評価対象	シート No.
① 家庭教育・子育ての支援	家庭教育活動の支援	生涯学習課	—	—
	親子参加の講座などの充実	生涯学習課	○	1
	幼児教育研究会の開催	学校教育課	—	—
② 道徳教育の充実	心の教育活動の推進	学校教育課	○	2
	体験活動を通じた道徳性の育成	学校教育課	—	—
③ 人権教育の推進	豊川市小中学校人権教育研究会の充実	学校教育課	—	—
	発達段階に応じた人権教育の実施	学校教育課	○	3
	人権に関する講座・研修会への教職員の参加	学校教育課	—	—
④ いじめ・不登校などへの対応	早期発見・早期対応に向けた取組の推進	学校教育課	—	—
	豊川市不登校対策委員会の取組の強化	学校教育課	○	4
	臨床心理士などによる教育相談の充実	学校教育課	○	5
	適応指導教室「さくらんぼ」における支援	学校教育課	—	—
⑤ 学校における体験活動の充実	異年齢との交流活動の実施	学校教育課	—	—
	思春期における体験活動の実施	学校教育課	○	6
	文化的行事の実施	学校教育課	—	—
⑥ 読書活動の推進	朝の読書活動の実施	学校教育課	—	—
	学校図書館巡回司書の配置	学校教育課	○	7
	「マイブックプロジェクト」の推進	中央図書館	○	8
	子ども読書活動の推進	中央図書館	—	—
	「うち読」の普及・啓発の推進	中央図書館	○	9
⑦ 子どもの体づくりの推進	学校体育の充実	学校教育課	○	10
	地域における子どものスポーツ活動への支援	スポーツ課・生涯学習課	○	11
	生活習慣病予防の推進	学校教育課	—	—
⑧ 文化遺産の継承と新たな文化の創造	食に関する指導の充実	学校給食課・学校教育課	○	12
	文化遺産の保護・活用の環境づくり	生涯学習課	○	13
	文化遺産継承の取組の推進	生涯学習課	○	14
	ふるさと意識の醸成	生涯学習課	—	—
	平和学習の推進	生涯学習課	○	15

基本目標 2 社会の変化に応える確かな学力を育成します

新たなことや困難なことに粘り強く挑戦する人を育成するためには、子どもたちが社会の変化に対応しながら、自分の成長を支えていけるような確かな学力を育成する教育が重要です。

- 児童生徒が楽しくわかる授業を実践します。
- 社会のニーズに対応した学習活動を推進します。
- 日本語指導が必要な児童生徒や配慮が必要な児童生徒への教育を充実します。
- 児童生徒の進路に関する指導を充実します。
- 教職員のさらなる資質の向上に取り組みます。

施策別の取組

施策	主な取組	主管課	評価対象	シート No.
① 楽しくわかる授業の実践	授業研究の推進	学校教育課	○	16
	きめ細かな指導の推進	学校教育課	—	—
	地域住民や学生との協働による学習支援	学校教育課	—	—
② 英語教育の推進	英語指導助手の配置	学校教育課	○	17
	英語力向上へ向けた活動の充実	学校教育課	○	18
③ 理数教育の推進	理数教科への関心を高める授業の実施	学校教育課	—	—
	理科教育支援員の配置	学校教育課	○	19
	子どもものづくり教室の実施	生涯学習課	—	—
④ 情報教育の充実	I C T機器を活用した授業の充実	学校教育課	○	20
	デジタル教科書・教材を活用した授業の実施	学校教育課	—	—
	情報モラル教育の推進	生涯学習課・学教課	○	21
⑤ 環境教育・E S Dの推進	地域の環境を守る環境学習	学校教育課	—	—
	E S Dの視点に立つ学習活動の推進	学校教育課	○	22
⑥ 日本語指導が必要な児童生徒への教育の充実	拠点校における日本語教育の実施	学校教育課	—	—
	日本語指導助手の配置	学校教育課	○	23
⑦ 配慮が必要な児童生徒への対応の充実	就学指導・相談体制の整備	学校教育課	—	—
	校内委員会などの機能の充実	学校教育課	—	—
	特別支援教育に関する研修会の充実	学校教育課	—	—
	特別支援教育支援員の配置	学校教育課	○	24
	学級運営支援員の配置	学校教育課	○	25
⑧ 進路指導の充実	就学援助の実施	学校教育課	○	26
	小学校からのキャリア教育の実施	学校教育課	—	—
	働くことの意義を体感する職場体験学習の実施	学校教育課	○	27
⑨ 教職員のさらなる資質の向上	教職員研修の充実	学校教育課	○	28
	教職員国内研修派遣の実施	学校教育課	—	—

基本目標3 豊かな人生を自らが築く生涯学習社会を確立します

生涯にわたって学び続ける人を育成するためには、人々が豊かな人生を自ら築こうとする生涯学習社会を確立していくことが重要です。

- 市民の主体的な生涯学習活動を支援します。
- 生涯の健康を支える力の育成に取り組みます。
- 多くの人がスポーツを楽しめる機会を充実します。
- 人々の読書活動を支える図書館サービスを充実します。

施策別の取組

施策	主な取組	主管課	評価対象	シート No.
① 生涯学習の振興	とよかわオープンカレッジの育成・支援	生涯学習課	○	29
	地域生涯学習の推進	生涯学習課	○	30
	生涯学習情報の整理と発信	生涯学習課	—	—
	学習成果の発表の場の充実	生涯学習課	—	—
	社会教育関係団体支援を通じた人材育成	生涯学習課	—	—
	ジオスペース館を活用した学習支援	中央図書館	○	31
	地域情報の収集・活用	中央図書館	—	—
② 生涯の健康を支える力の育成	地域とつながる食育の推進	学校給食課	○	32
	喫煙・飲酒・薬物乱用の防止	学校教育課	—	—
③ 生涯スポーツの振興	地域スポーツの推進	スポーツ課	○	33
	スポーツイベントの開催支援	スポーツ課	○	34
	スポーツ選手・団体への活動支援	スポーツ課	○	35
	トップレベルに触れる機会の充実	スポーツ課	○	36
④ 図書館サービスの充実	図書館資料の充実	中央図書館	○	37
	電子図書館サービスの充実	中央図書館	○	38
	「図書館検定」の実施	中央図書館	—	—

基本目標 4 魅力ある教育環境づくりを進めます

本市が目指す人づくりを実現していくためには、人々の学びの場である家庭や地域、学校などの教育環境が、魅力ある最良の状態にあることが望まれます。

- 学校教育における安全・安心の確保に取り組みます。
- 地域に開かれた学校づくりや学校教育環境の充実に取り組みます。
- 子どもや若者を育む地域の教育力の向上支援に取り組みます。
- スポーツや生涯学習、読書に親しめる環境の整備、充実に取り組みます。

施策別の取組

施策	主な取組	主管課	評価対象	シート No.
① 児童生徒の安全・安心の確保	防災教育の推進	学校教育課	—	—
	交通安全教育の推進	学校教育課	—	—
	学校安全緊急情報共有化広域ネットワークの活用	学校教育課	—	—
	学校施設における飛散防止フィルム貼付	庶務課	—	—
	防犯・防災設備の充実	庶務課	○	39
	安全・安心な学校給食の提供	学校給食課	○	40
	学校給食施設の整備・改修	学校給食課	○	41
② 開かれた学校づくりを目指す教育活動	特色ある学校づくりの推進	学校教育課	○	42
	学校の日の開催	学校教育課	—	—
	学校からの情報発信	学校教育課	—	—
	学校サポーターによる学校支援	庶務課	○	43
	学校評価の公表	学校教育課	—	—
	部活動の外部講師の活用	学校教育課	○	44
③ 学校教育環境の整備	老朽校舎などの計画的な整備	庶務課	○	45
	学習環境の整備	庶務課	○	46
	小学校遊具の整備	庶務課	—	—
	学校運営における情報機器の活用	庶務課	—	—
	教育用 I C T 機器などの整備	庶務課	○	47
	学校図書の実充	庶務課	○	48
④ 地域教育力の向上支援	子どもセンター事業の推進	生涯学習課	○	49
	青少年健全育成活動の支援	生涯学習課	—	—
	子ども・若者への各種支援	生涯学習課	○	50
	学校給食における家庭・地域との連携	学校給食課	—	—
⑤ スポーツ環境の整備	体育施設の整備	スポーツ課	○	51
	体育施設の適正な管理運営	スポーツ課	—	—
	学校体育施設の開放推進	スポーツ課	—	—
⑥ 生涯学習環境の整備	生涯学習施設の活用	生涯学習課	○	52
	高等教育機関との連携	生涯学習課	—	—
⑦ 読書環境の充実	図書館と学校などとの連携強化の推進	中央図書館	—	—
	図書館施設などの整備	中央図書館	○	53

Ⅲ 評価シート

シートNo.1 【担当：生涯学習課】

事業名	親子参加の講座などの充実 <input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続																												
内容	地域生涯学習講座やとよかわオープンカレッジの親子向け講座、子どもセンター事業の親子ふれあい工房、保健センター主催の妊産婦教室や子育て教室などを通じて、親子のふれあいや学びの機会を充実させる。																														
実施状況及び成果	<p>「地域生涯学習講座」に加え、子どもセンター事業である「親子ふれあい工房」では、家庭でもできる簡単な工作教室を年9回行い、親子のふれあう機会の充実を図った。</p> <p>「とよかわオープンカレッジ」では、親子が楽しめる音楽遊びやパンづくりなどの体験型講座を充実させ、子育て世代を応援する内容の事業を行った。(シートNo.29 参照) ※新型コロナウイルス感染予防のため、とよかわオープンカレッジの講座の中で3月開催予定のものは中止となった。</p> <p>【各講座における親子向け講座数及び参加組数】</p> <table border="1" data-bbox="316 734 1321 904"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">H29</th> <th colspan="2">H30</th> <th colspan="2">R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>親子ふれあい工房</td> <td>8 講座</td> <td>127 組</td> <td>8 講座</td> <td>144 組</td> <td>9 講座</td> <td>155 組</td> </tr> <tr> <td>地域生涯学習講座</td> <td>35 講座</td> <td>281 組</td> <td>44 講座</td> <td>274 組</td> <td>39 講座</td> <td>321 組</td> </tr> <tr> <td>オープンカレッジ親子向け講座</td> <td>63 講座</td> <td>764 組</td> <td>61 講座</td> <td>721 組</td> <td>60 講座</td> <td>590 組</td> </tr> </tbody> </table>				H29		H30		R1		親子ふれあい工房	8 講座	127 組	8 講座	144 組	9 講座	155 組	地域生涯学習講座	35 講座	281 組	44 講座	274 組	39 講座	321 組	オープンカレッジ親子向け講座	63 講座	764 組	61 講座	721 組	60 講座	590 組
	H29		H30		R1																										
親子ふれあい工房	8 講座	127 組	8 講座	144 組	9 講座	155 組																									
地域生涯学習講座	35 講座	281 組	44 講座	274 組	39 講座	321 組																									
オープンカレッジ親子向け講座	63 講座	764 組	61 講座	721 組	60 講座	590 組																									
決算額	平成 29 年度 3,747 千円	平成 30 年度 3,742 千円	令和元年度 3,793 千円																												
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	<p>「親子ふれあい工房」 8 講座中 6 講座で定員数を増やして開催し、また講座数を年 8 回から 9 回に増やすことで参加組数の増加に繋げることができた。</p> <p>「親子向けの地域生涯学習講座」の講座数はやや減少したが、参加者数は増やすことができた。</p> <p>「とよかわオープンカレッジ」新型コロナウイルスの影響を除けば、引き続き、多くの親子向け講座を開催することができた。</p>																													
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	<p>【親子ふれあい工房】 引き続き、講座の種類や各回の定員数を増やすことができるよう、講師等と調整を図る。</p> <p>【地域生涯学習】 親子向け講座の開設を継続し、親子のふれあう学びの場を充実させていく。</p> <p>【オープンカレッジ】 引き続き、親子向け講座の開設を推進し、子育て世代の学習機会のさらなる拡充を図る。</p>	<p><前年度における点検評価委員の主な意見> 定員を増やすことで参加の増加に繋げたことを評価する。引き続き、各講座がより良いものとなるよう、内容や場所などを講師と相談しながら、親が子育ての大変さの中でも喜びを感じられるよう支援していただきたい。</p>																												
点検評価委員の 評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	<p>「親子ふれあい工房」の講座回数や定員を増やすことにより、より多くの親子がお互いにふれあいながら学ぶ機会を提供できたことを評価する。また、「地域生涯学習」や「とよかわオープンカレッジ」においても、多くの親子向け講座を開設しており、親子のふれあいを高めるだけでなく参加者同士のつながりを高めることができ、子育て支援につながっている。</p> <p>引き続き、時代に合った魅力ある体験型の親子講座を開講し、楽しく子育てができるよう支援していただきたい。</p>																													

シートNo.2 【担当：学校教育課】

事業名	心の教育活動の推進 <input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
内容	「学校の日」における道徳の公開授業や地域、家庭と協力した学校行事を行う。「道徳」の教科化に向けた授業研究や学校教育全体を通じた道徳教育の充実に取り組む。		
実施状況及び成果	全ての学校で年に一度は道徳授業を公開している。道徳の教科化（小学校：平成30年度、中学校：令和元年度）への動きの中で、道徳授業についての関心は高まっているが、保護者や地域の方に、日ごろ行われている道徳授業を参観いただくことで、道徳授業に対する関心をより高めることができた。 また、「道徳の抜本的改善・充実に係る支援事業」の委託を平成30年度から受け、実践校での1年における実践研究を行い、「考える道徳・議論する道徳」を目指して児童生徒の道徳心の向上と教師の指導力向上に大きく貢献できた。		
決算額	平成29年度 0千円	平成30年度 200千円	令和元年度 200千円
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	道徳教育の研究実践校として1校を選出し、道徳の委託研究を行ったことで、教職員の指導力向上につながっている。保護者や地域の方に参観していただいたり、一緒になって考えたりすることで、家庭や地域が一体となって思いやりの心を育むことができた。	
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	道徳が教科化（平成30年度に小学校、令和元年度に中学校）されたことを受け、各学校も道徳授業の実践に力を入れている。 今後も主任会などを通じて実践の成果を広く啓発し、他校の資料を共有できるような手立てを講じていく。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 道徳の授業において議論を深めることは、子どもたちが自分の心を見つめ直し、他者の考えを尊重することに繋がっていく。児童生徒の「心の教育」のレベルが上がることを期待する。
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	道徳教育の研究実践校を選出し、実践研究を行うなど教職員の指導力向上につなげる取組がされている点を評価する。実践研究の成果を各小中学校へ広く共有し、道徳教育の充実が図られることを期待する。 道徳授業の公開は、豊川市全体の心の教育の推進を図るとともに、子どもたちの心の教育を家庭や地域で共に育むことにつながっていくため、引き続き実施していただきたい。	

シートNo.3 【担当：学校教育課】

事業名	発達段階に応じた人権教育の実施 <input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他			新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続												
内容	各小中学校で発達段階に合わせた人権教育を進める。12月の人権週間には、各小中学校で人権に関する授業や講話、映画鑑賞などを行う。															
実施状況及び成果	人権に関する生徒集会、読書タイムにおける人権に関する読み聞かせ、DVDの視聴、講演会など、各校の実情に合わせた道徳・学級活動・総合的な学習などにおいて実施した。 各小中学校の担当者を中心に、人権教育指導者研修会中央研修会、東三河人権指導者研修会、愛知県人権教育研究会、全国人権・同和教育研究大会などの講座や研修会へ参加し、各校での人権教育に生かすことができた。 【参加状況】 <table border="1" data-bbox="384 674 1305 768"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人権教育実施学校数</td> <td>36校</td> <td>36校</td> <td>36校</td> </tr> <tr> <td>研修会参加者</td> <td>105人</td> <td>127人</td> <td>124人</td> </tr> </tbody> </table>					H29	H30	R1	人権教育実施学校数	36校	36校	36校	研修会参加者	105人	127人	124人
	H29	H30	R1													
人権教育実施学校数	36校	36校	36校													
研修会参加者	105人	127人	124人													
決算額	平成29年度 240千円	平成30年度 240千円	令和元年度 240千円													
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	人権週間を機に、生徒集会や読み聞かせ、講演会など、各学校が工夫を凝らして人権啓発活動に取り組むことができ、児童生徒が人権問題を自らの問題として考える機会となった。														
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	引き続き、各種人権指導者研修を受講した教職員が中心となって、人権教育をすべての学校活動で実施するという根本をしっかりと認識した指導をしていくことを目指す。そのために、人権に関わる講座や研修会への参加を呼びかけ、より多くの教職員が工夫を凝らした人権啓発活動を展開できるようにしていく。特に人権週間には、その意義を学ぶとともに、発達段階に応じた人権教育を行う。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 教職員の人権意識の高まりが、子どもたちの日々の学校生活における指導に繋がっているため、引き続き研修会等に多くの教職員が参加し、子どもたちの人権教育の指導に生かしていただきたい。													
点検評価委員の 評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	人権週間に各小中学校において様々な取組を行うことで、子どもたち自身が人権について考える機会を設け、人権教育の充実を図っていることを評価する。 各学校の人権教育の取組を共有し、子どもたちの実情に合わせた取組を続けていただきたい。 今後も教職員が積極的に各種研修に参加し、人権教育のレベルアップを図るとともに、様々な人権問題に対応できるアンテナを持ちながら児童生徒への指導を行っていただきたい。														

シートNo.4【担当：学校教育課】

事業名	豊川市不登校対策委員会の取組の強化 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他			新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続												
内容	豊川市不登校対策委員会が中心となり、全小中学校の不登校対策委員や臨床心理士、適応指導教室指導員の連携を強化する。教職員の夏季全体研修会や中学校区ごとのブロック別研修会を企画運営するとともに、不登校対策委員会が提案する「不登校小中連携シート」を活用した未然防止などに取り組む。															
実施状況及び成果	<p>・登校支援事業（実）</p> <p>児童生徒の不登校傾向の要因は単に学級不適応だけでなく、その背景には、いじめや発達障害、児童虐待など、様々な問題を抱えている場合が多いため、豊川市不登校対策委員会を立ち上げ、臨床心理士やスクールカウンセラー、ハートフル相談員などの協力のもと、多面的な角度から不登校を捉え、その減少を目標に取り組を行った。</p> <p>不登校対策委員会による全市的な取組として、教職員の力量を高めるための研修会や情報交換会、ブロック別の事例研究会を実施するなどし、効果的な手立ての研究及び情報発信を行った。</p> <p>【不登校児童生徒数】</p> <table border="1" data-bbox="323 770 1050 871"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>75人</td> <td>100人</td> <td>94人</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>197人</td> <td>196人</td> <td>201人</td> </tr> </tbody> </table>					H29	H30	R1	小学校	75人	100人	94人	中学校	197人	196人	201人
	H29	H30	R1													
小学校	75人	100人	94人													
中学校	197人	196人	201人													
決算額	平成29年度 1,610千円	平成30年度 3,001千円	令和元年度 1,804千円													
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	不登校の出現率について、令和元年度は、小学校では0.9%、中学校では3.9%と平成30年度の出現率並におさえることができた。不登校対策委員会の教職員向けの研修や、啓発用おたよりの活用により、初期対応で成果が上がった。特に、初期対応をシステム化した小学校では、敏速な対応ができ、成果を上げた。														
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	魅力ある学校づくりを進めることで、不登校の未然防止に繋げるとともに、特に中学校入学時からきめ細かい支援や手立てを講じられるよう小中不登校連携支援シートをより使いやすいものにし、新たな不登校を出さない取組と手立てに繋げていく。また、これまでの、外部機関との連携に加え、教職員の力量向上をめざし、成果を上げたい。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 魅力ある学級・学校づくりを進めていくことが、不登校の未然防止に繋がるため、教職員が目の前の子どもを好きになり、子どもの笑顔に喜びを感じられるように今後も学校全体で取り組んでいただきたい。													
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	不登校の初期対応を意識した取組を行い、不登校出現率を前年度並におさえられていることを評価する。魅力ある学校づくりを進めている成果でもあると考える。 引き続き、魅力ある学校づくりや居場所づくりを進め、児童生徒が元気に学校生活を楽しめるよう取り組んでいただきたい。														

シートNo.5 【担当：学校教育課】

事業名	臨床心理士などによる教育相談の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続								
内容	臨床心理士が、心理教育相談室「ゆずりは」において教育相談にあたりるとともに、小中学校や保育園への巡回指導などを行う。小学校に「ハートフル相談員」を巡回させ、相談活動の充実に取り組む。										
実施状況及び成果	<p>・心理教育相談事業（実） いじめ、不登校、学級不適応等を抱えた児童生徒・未就学児（年長児以上）及びその保護者、教職員の相談に応じるとともに小学校巡回指導、中学校巡回指導の充実を図った。 発達障害のある児童生徒に対して保護者や教職員がどう対応していくかなど、多様化する相談に専門的な立場からのアドバイスを行った。 相談対象者は、豊川市在住の未就学児（年中・年長）、小中学生、保護者、教職員としており、児童生徒への対応などについて、教職員のみ相談も受けている。 平成26年度から開始した、木曜日午後枠、金曜日午前枠・午後枠での臨床心理士による各小学校、保育園への巡回指導は、学校や保育園の要望に沿う対応となっている。中学校2校を巡回する専門相談員も、生徒指導を含む不登校生徒への指導を行うことができた。 令和元年度の年中・年長児の相談は、年間57件であった。 相談者との面談を通して、少しでも本人の成長を促したり自分で考える力を身につけたりすることができた。</p> <p>【臨床心理士の人数】 平成29年度：5人 平成30年度：5人 令和元年度：5人</p> <p>【相談件数】</p> <table border="1" data-bbox="323 1025 1121 1104"> <tr> <td></td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>ゆずりは相談件数</td> <td>2,362件</td> <td>2,163件</td> <td>2,024件</td> </tr> </table>				H29	H30	R1	ゆずりは相談件数	2,362件	2,163件	2,024件
	H29	H30	R1								
ゆずりは相談件数	2,362件	2,163件	2,024件								
決算額	平成29年度 19,215千円	平成30年度 21,667千円	令和元年度 21,259千円								
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	相談者の気持ちに寄り添いながら、教育相談活動をすすめることができた と考える。また、相談内容や児童生徒の様子から、相談者と相談しながら豊橋市内の病院にスムーズにつなげることができている。 相談内容が複雑化しており、相談は1回だけでなく、継続相談がほとんどである。新規での相談希望があっても、時期によってはすぐに対応できず1か月以上待ってもらうケースがある。									
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	情報の共有、支援方法の共通理解など、引き続き、学校、保育園、病院、保健所、子育て支援課、東三河児童障害者相談センター等との連携を一層強めていく。 登校支援事業で行う研修会などで、臨床心理士による講演や事例検討会を行い、参加者を増やすことで、教職員の力量向上に役立てていく。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 幼児の発達相談は、保護者にとっては将来の不安へも繋がっているため、臨床心理士、ハートフル相談員をはじめ、各関係機関と連携し、相談活動を充実させていただきたい。								
点検評価委員の 評価及び意見等	<input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	各小中学校への臨床心理士による巡回指導や巡回相談など、子どもや保護者、教職員の相談要望に対応した取組を評価する。また、臨床心理士による講演や、事例検討会などの取組は教職員の力量向上につながっている。 引き続き、各関係機関と連携しながら相談に対応していただくとともに、相談内容が複雑化していることから、臨床心理士の人数の増員も検討していただきたい。									

シートNo.6 【担当：学校教育課】

事業名	思春期における体験活動の実施 <input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他			新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続								
内容	校区の乳幼児親子と交流する「ふれあい体験」を実施する。小学校4、5年生とその保護者を対象に、これから迎える心や身体の変化とのつき合い方と命のつながりについて学ぶ「親子で学ぶ思春期講座」を実施する。											
実施状況及び成果	<p>養護教諭部会と保健主事部会が主催する「親子で学ぶ思春期講座」では、前半は、男子の保護者を対象にスクールカウンセラーによる男子の心と体の成長と変化についての講演や質問コーナー、後半は女子と保護者を対象に、養護教諭による女子の体の変化についての劇や質問コーナー、思春期の下着の選び方等の講座を実施した。参加した保護者から「思春期の体の変化のことが分かりよかった」等の感想があり大変好評であった。参加した児童からは「思春期のことがよくわかり、不安が減った」「身体の変化の不思議さに自分の体に興味が持てた」等の感想があった。</p> <p>「赤ちゃんふれあい教室」は、学校へ地域の母親と赤ちゃんに来てもらい、子どもたちがふれ合うことを通じて命の大切さや家族の絆などを考える機会として、保健センターの協力を得て実施した。生徒の多くが「命の重みを感じた」という感想を持つことができた。</p> <table border="0" style="width:100%"> <tr> <td style="width:50%">【親子思春期講座の参加者】</td> <td style="width:50%">【赤ちゃんふれあい教室実施校】</td> </tr> <tr> <td>平成29年度 131人</td> <td>平成29年度 19校</td> </tr> <tr> <td>平成30年度 200人</td> <td>平成30年度 24校</td> </tr> <tr> <td>令和元年度 211人</td> <td>令和元年度 23校</td> </tr> </table>				【親子思春期講座の参加者】	【赤ちゃんふれあい教室実施校】	平成29年度 131人	平成29年度 19校	平成30年度 200人	平成30年度 24校	令和元年度 211人	令和元年度 23校
【親子思春期講座の参加者】	【赤ちゃんふれあい教室実施校】											
平成29年度 131人	平成29年度 19校											
平成30年度 200人	平成30年度 24校											
令和元年度 211人	令和元年度 23校											
決算額	平成29年度 — 千円	平成30年度 — 千円	令和元年度 — 千円									
自己評価	<table border="0" style="width:100%"> <tr> <td style="width:35%"> <input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった </td> <td style="width:65%"> <p>「親子で学ぶ思春期講座」は毎回好評で、平成29年度から男子児童の保護者も対象とし、児童や保護者の思春期を迎える際の不安軽減の手助けとなった。</p> <p>「赤ちゃんふれあい教室」では、実際に母親や赤ちゃんと交流することを通して、子どもたちが命や家族の大切さを実感できる場となった。保健センターや地域の主任児童委員などと連携し、校長会等で事業の案内をすることにより、新規の実施校を2校増やすことができた。</p> </td> </tr> </table>				<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	<p>「親子で学ぶ思春期講座」は毎回好評で、平成29年度から男子児童の保護者も対象とし、児童や保護者の思春期を迎える際の不安軽減の手助けとなった。</p> <p>「赤ちゃんふれあい教室」では、実際に母親や赤ちゃんと交流することを通して、子どもたちが命や家族の大切さを実感できる場となった。保健センターや地域の主任児童委員などと連携し、校長会等で事業の案内をすることにより、新規の実施校を2校増やすことができた。</p>						
<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	<p>「親子で学ぶ思春期講座」は毎回好評で、平成29年度から男子児童の保護者も対象とし、児童や保護者の思春期を迎える際の不安軽減の手助けとなった。</p> <p>「赤ちゃんふれあい教室」では、実際に母親や赤ちゃんと交流することを通して、子どもたちが命や家族の大切さを実感できる場となった。保健センターや地域の主任児童委員などと連携し、校長会等で事業の案内をすることにより、新規の実施校を2校増やすことができた。</p>											
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	<p>「親子思春期講座」や「赤ちゃんふれあい教室」については、引き続き、学校、地域の親子、保健センターの協力を得ながら、内容の検討を行い、取組を充実させていく。</p> <p><前年度における点検評価委員の主な意見> 「親子で学ぶ思春期講座」は、保護者と児童と一緒に学ぶことにより、共通の理解を得られる場となっている。参加者の増加は、親のニーズに応えた講座となっている現れであると評価する。</p>										
点検評価委員の 評価及び 意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	<p>「親子で学ぶ思春期講座」は、保護者や子どもの不安を和らげられるよう年々工夫改善されていることを評価する。また、「赤ちゃんふれあい教室」の実施校を増やし、子どもたちの心の教育の推進が図られている点を評価する。</p> <p>赤ちゃんへの安全配慮など大変なことも多いと思いますが、親子で一緒に話を聞いたり、赤ちゃんとのふれあいを通じて家族の絆を考える貴重な機会であるため、学校や地域、関係機関と連携し、引き続き実施していただきたい。</p>										

シートNo.7 【担当：学校教育課】

事業名	学校図書館巡回司書の配置 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
内容	学校図書館巡回司書を配置し、読み聞かせや読書相談などを行う。巡回司書が各小中学校の司書教諭や図書館主任と連携し、図書の整理や利用指導、学習資料の提示を行ったり、授業に参加したりする取組などを進める。		
実施状況及び成果	<p>・読書教育推進事業（実）</p> <p>学校図書館は、読書センター、学習センター、情報センターとしての役割を担っており、巡回司書は司書教諭と協力し、学習に必要な資料をそろえ、子どもたちが目を引く図書の配置や読み聞かせなどを行い、計画的に本を廃棄することで、子ども達が利用しやすい学校図書館の機能を維持させている。</p> <p>巡回司書 10 人が 36 校を巡回訪問し、司書教諭と連携して学校図書館の整備に当たった。</p> <p>図書ボランティアに指導しながら季節に合わせた図書室の環境整備を行ったり、楽しい読書週間の取組を行ったりし、子どもたちが意欲的に読書に親しむことができるよう工夫し取り組むことができた。巡回司書の活動により、図書ボランティアや教職員も読書活動の大切さと有効性をより意識することができた。</p> <p>【学校図書館巡回司書人数】</p> <p>平成 29 年度：10 人（1 人 1 日 6 時間 年間 100 日）</p> <p>平成 30 年度：10 人（1 人 1 日 6 時間 年間 100 日）</p> <p>令和元年度：10 人（1 人 1 日 6 時間 年間 100 日）</p>		
決算額	平成 29 年度 6,679 千円	平成 30 年度 6,905 千円	令和元年度 6,508 千円
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	巡回司書は、現在、一人 3～4 校を受け持ち、一校あたり月 2～3 回程度訪問している。読み聞かせや昼休みの貸出し、購入本の選定、書架の整理や廃棄本の処理に加え、授業やボランティアへの支援など、多くの業務を担っている。平成 29 年度から、時間数を増やし充実しているが、子どもたちとの関わりも大切にしたいと考え、現状の勤務日数・時間が課題である。	
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	今後も中央図書館との連携を深め、巡回司書の有効活用を図る。 司書ミーティングを学期に 1 回実施し、巡回司書の力量向上とより良い学校図書館を目指して意見交換や学習会を行う。 中央図書館の団体貸し出しを活用したり、よりよい実践を持ち寄りする場を設けて、限られた時間の中での活動を充実させていきたい。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 引き続き中央図書館とも連携しながら、司書の力量向上や巡回日数の増加など、学校図書室のさらなる充実と児童生徒の読書推進に励んでいただきたい。
点検評価委員の 評価及び 意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	学校図書室の環境整備や読書活動の推進について、司書教諭、図書館主任、巡回司書が連携して取り組んでいることを評価する。引き続き、児童生徒にとって一番身近な学校図書室が居心地のよい場となるよう環境整備をしていただくとともに、授業資料として役立つような本の選書をしていただくなど、教職員にとっても使いやすい場となるようことを期待する。 巡回司書の配置は、読書教育の推進に非常に貢献しており、司書の人数や勤務日数、時間数の増について、学校側や司書の意見等も考慮しながら検討していただきたい。	

シートNo.8 【担当：中央図書館】

事業名	「マイブックプロジェクト」の推進 <input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続																				
内容	市内の中学校2年生の生徒が自ら書店で本を選び購入を体験する「マイブックプロジェクト」を実施し、体験を通じた読書意欲の向上による子ども読書活動の推進に取り組む。																						
実施状況及び成果	<p>本市中学2年生に市内の協力書店で使える一定金額の図書購入券を配布し、各生徒が読みたいと思う本を自ら書店で購入してもらい、購入した生徒が読み終えた本は、紹介メッセージを付けて級友や他のクラスの生徒へ、次年度には他の学年の生徒へとバトンを渡すように次々に読者を増やすことで、読書の楽しさを体験してもらい、生徒の読書意欲の向上につなげることができた。</p> <p>事業実施後の参加生徒へのアンケートでは、自分で本を選んで購入したのは良い経験になったと答えた生徒が70%近くいたほか、他の生徒が購入した本を読むことで、これまで読んだことのなかったジャンルの本に挑戦したという意見もあり、読書が好きになったと答えた生徒が過半数を超えた。また担任からは、学級文庫が充実し、放課に本を読む生徒が増加したように感じられるという意見があった。</p> <p>【マイブックプロジェクト参加生徒：市内中学2年生】</p> <table border="1" data-bbox="323 770 1350 981"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒数(対象)</td> <td>1,775人</td> <td>1,725人</td> <td>1,638人</td> </tr> <tr> <td>購入者</td> <td>1,687人</td> <td>1,651人</td> <td>1,580人</td> </tr> <tr> <td>購入額</td> <td>1,915,030円</td> <td>1,864,566円</td> <td>1,730,037円</td> </tr> <tr> <td>参加率</td> <td>95.0%</td> <td>95.7%</td> <td>96.5%</td> </tr> </tbody> </table>				H29	H30	R1	生徒数(対象)	1,775人	1,725人	1,638人	購入者	1,687人	1,651人	1,580人	購入額	1,915,030円	1,864,566円	1,730,037円	参加率	95.0%	95.7%	96.5%
	H29	H30	R1																				
生徒数(対象)	1,775人	1,725人	1,638人																				
購入者	1,687人	1,651人	1,580人																				
購入額	1,915,030円	1,864,566円	1,730,037円																				
参加率	95.0%	95.7%	96.5%																				
決算額	平成29年度 1,916千円	平成30年度 1,865千円	令和元年度 1,731千円																				
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	事業実施後のアンケートで、「この事業により、読書に対する生徒の意識に変化はあったか」という質問に対し、「普段は進んで活字を読まない生徒も読書するようになった」「朝の読書で多くの本に触れられた」などのほか、「友達の買った本や話題性のある本があるので、読書に興味を持つ子が増えたように感じる」などの意見が多く見られ、生徒の読書意欲の向上に結びつけることができた。																					
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	参加率も昨年度より上昇し、参加生徒へのアンケートに「自分で本を選んで購入したのは良い経験になった」との意見もあるように、自ら書店へ足を運ぶという行動を促す効果が見られるため、今後も継続できるよう関係部局と協議を行う。生徒や学校、協力書店からのアンケート等を参考に、関係機関と連携し、事業内容等の検討を行う。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 自ら書店へ足を運ぶという行動を促すことができる点でも意義があるため、継続して事業を推進していただきたい。																				
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	中学2年生ともなれば、読書の関心の高さは二極化してしまう時期だと思われるが、「マイブックプロジェクト」への参加率は年々上がっており、このプロジェクトを機に本に興味・関心を持った生徒も多いのではないと思う。 引き続き、生徒達が、自ら興味を持って動き、自ら本を選ぶことができるよう、学校図書室等においても読み終えた子のメッセージの紹介や本の情報提供をしていただきたい。																					

シートNo.9 【担当：中央図書館】

事業名	「うち読」の普及・啓発の推進 <input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		新規・ <u>継続</u>																												
内容	家族みんなで読書をすることで家族のコミュニケーションを深められる「うち読」事業を実施し、「うち読」に適した本の展示・紹介や「うち読」ノートの配布を行うことで、子どもの読書の習慣付けや家庭における読み聞かせなどの普及・啓発に取り組む。																														
実施状況及び成果	<p>中央図書館開館 20 周年記念事業として、内容を見直した新たな「うち読ノート」を作成し、メルヘンハウスの三輪丈太郎さんによる「うち読」講演会などの実施に合わせて配布した。また、「豊川市子ども読書活動推進計画」に基づき、「うち読」の普及・啓発のため、児童コーナーに常設の「うち読」コーナーへ「うち読」におすすめの本を新規購入して紹介したほか、企画展示「もう一度読んでみたい！教科書に掲載された本から」に併せて「うち読」について紹介し、「うち読ノート」の周知を行った。また、児童向けの本の展示を前年より 11 回増やし、展示図書と並べて「うち読ノート」を設置することで、「うち読」の普及と啓発を積極的に行った。</p> <p>【図書館における読み聞かせ等開催状況】</p> <table border="1" data-bbox="319 808 1374 929"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H29</th> <th colspan="2">H30</th> <th colspan="2">R1</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>絵本・紙芝居・読み聞かせ等</td> <td>206 回</td> <td>5,310 人</td> <td>229 回</td> <td>5,461 人</td> <td>201 回</td> <td>4,225 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【「うち読」ノート配布部数】</p> <table border="1" data-bbox="319 969 1374 1048"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配布部数</td> <td>400 部</td> <td>500 部</td> <td>500 部</td> </tr> </tbody> </table>				H29		H30		R1		回数	人数	回数	人数	回数	人数	絵本・紙芝居・読み聞かせ等	206 回	5,310 人	229 回	5,461 人	201 回	4,225 人		H29	H30	R1	配布部数	400 部	500 部	500 部
	H29		H30		R1																										
	回数	人数	回数	人数	回数	人数																									
絵本・紙芝居・読み聞かせ等	206 回	5,310 人	229 回	5,461 人	201 回	4,225 人																									
	H29	H30	R1																												
配布部数	400 部	500 部	500 部																												
決算額	平成 29 年度 — 千円	平成 30 年度 70 千円	令和元年度 90 千円																												
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	昨年度と同様、「読み聞かせ」の開催や保健センター内の絵本コーナーへの本の提供、学校への「うち読」啓発活動の協力依頼など、本に親しむ機会の充実を図った。 内容を改良した新たな「うち読ノート」を「うち読」講演会で積極的に配布するとともに、「うち読」に関する企画展示や児童向けの本の展示を例年より大幅に増やすことで、「うち読」の普及・啓発の推進ができた。																													
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	内容改良後の新たな「うち読」ノートについて、利用者の声を聴くなどし、さらなる改良の必要性の有無を検討する。引き続き、幼児向けの「読み聞かせ」等の実施や児童向けの本の展示に力を入れ、「うち読」の推進に繋がる取組を積極的に行う。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 「うち読」の普及・啓発のため、中央図書館において様々な取組を行っていることを評価する。 子育て支援課が実施している「ブックスタート」事業の中でも、「うち読」の意義や重要性について周知する機会を作っていただきたい。																												
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	「うち読ノート」の改良や講演会等でのノート配布、「うち読」に関する企画展、本の展示の工夫など、「うち読」の普及・啓発に努めた点を評価する。図書館で行っている「読み聞かせ」等でも、少しずつ「うち読」が周知されてきている。 本好きの子どもたちを育てることにつながるため、引き続き「うち読」の周知、推進を図っていただきたい。特に、親子対象の講座等において周知をお願いしたい。																													

シートNo.10【担当：学校教育課】

事業名	学校体育の充実		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
	<input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
内容	教職員の指導力や専門性を高める研修会への参加を支援するとともに、優れた実践を全ての小中学校で共有し、よりよい授業づくりを進める。小学校の体育の授業や中学校の運動部活動などに、地域の指導者を派遣する取組を進めることで、児童生徒の体力・健康増進を推進する。		
実施状況及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の指導力や専門性を高める実技講習会等への参加を支援するとともに、他校の教職員に講習会で学んだ内容を伝えるための伝達講習会を開催した。これにより、教師が安全で質の高い指導につなげることができた。 【実技講習会等参加人数】 <ul style="list-style-type: none"> ・実技講習会 小学校「体づくり運動」4人、中学校「ダンス」4人、「柔道」1人 ・運動部活動指導者研修会「バレーボール」2人 ・武道指導者養成講習会「剣道」2人 ・中学校の部活動にボランティアとして参加してくれる地域の方を学校に紹介し、実際に指導の補助を行った。こうした技術をもつ地域の方から、教職員が高い指導方法を学んだり、よりきめの細かい指導を行ったりすることができ、生徒の健康増進にも貢献できた。 		
決算額	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
	— 千円	— 千円	— 千円
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	実技講習会への参加によって、教職員が最新の指導方法について学ぶことができ、日々の授業で生かせる指導技術の幅が広がり、子どもたちの体力向上に役立てることができた。	
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	指導技術を高めるための研修会や講習会への参加については、今後も継続して実施していく。また、伝達講習会に、より多くの教職員が参加できるように情宣をしていく。 地域のボランティアについては、部活動が教育の一環であるという認識をもった方に、指導の協力をお願いできるよう、人材の発掘に努めていく。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 部活動を地域のボランティアに指導していただくことは、専門的知識や技術を学べることに、地域の方とのふれあう機会にもなることから、引き続き人材発掘と確保に努めていただきたい。
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	実技講習会でより良い指導方法を学ぶとともに、伝達講習会によって多くの教職員に指導技術を伝達し、学びの機会を設けたことを評価する。教師の指導力を高めることが、子どもの運動好きを育てることにつながっていく。今後も、教職員が実技講習会や伝達講習会にできるだけ多く参加することを望む。 中学の部活動に地域のボランティア（専門的知識、技術を持った方）を派遣する取組は、教職員の指導力アップと生徒の技術向上につながるため、人材の発掘と情報交換等により人材確保に努めていただきたい。	

シートNo.11 【担当：スポーツ課、生涯学習課】

事業名	地域における子どものスポーツ活動への支援			新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続											
	<input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他														
内容	地域のスポーツ少年団、放課後子ども教室などにおけるスポーツ活動を支援する。														
実施状況及び成果	<ul style="list-style-type: none"> 地域のスポーツ少年団には体育協会を通じた支援を行った。 														
	スポーツ少年団 加盟団体数：35 団体 団員数：868 人 指導者数：164 人 運動適性テスト、交流大会等開催 【決算額】 H29 648 千円 H30 630 千円 R1 630 千円														
	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室において、剣道や卓球など各種スポーツに親しむ教室を開催した。 【放課後子ども教室（スポーツ系）】 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教室数</td> <td>21 教室</td> <td>20 教室</td> <td>19 教室</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>347 人</td> <td>434 人</td> <td>425 人</td> </tr> </tbody> </table>					H29	H30	R1	教室数	21 教室	20 教室	19 教室	参加者数	347 人	434 人
	H29	H30	R1												
教室数	21 教室	20 教室	19 教室												
参加者数	347 人	434 人	425 人												
決算額	平成 29 年度 上記のとおり 千円	平成 30 年度 上記のとおり 千円	令和元年度 上記のとおり 千円												
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった														
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了		少子化の影響やスポーツの多様化など、スポーツを取り巻く環境が変化するなか、活動の活発化に向けてスポーツ少年団の情報発信や指導者研修会等の各種活動支援をすることで、子どもたちが身近なところでスポーツに親しむ機会を提供することができた。 放課後子ども教室では、勉強や文化活動に加えてスポーツに親しむ教室を開催し、地域の中で安心して健やかに育まれる環境づくりを推進することができた。												
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善														
	各地域に根づいている「スポーツ少年団」の情報発信や指導者研修会等を通して各種活動の支援が成された点、「放課後子ども教室」において子どもたちがスポーツに親しむ環境が提供できた点を評価する。 子どもたちが、身近な所でスポーツに親しむことができることは、大変貴重である。引き続き、地域で「スポーツの楽しさ」を体験できる場や「スポーツとの出会い」のきっかけとなる場を提供していただきたい。														

シートNo.12【担当：学校給食課、学校教育課】

事業名	食に関する指導の充実		新規・ 継続	
	<input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他			
内容	栄養教諭などが中心となり、学校給食の時間や学級活動、教科等の時間に指導を行うとともに、「給食だより」を配布するなどして、食に関する指導を充実する。			
実施状況及び成果	食に関する指導に加え、各学校に給食の残食状況を知らせることにより、食の大切さの認識や食への関心を高め、給食を食べようとする意識を高めた。《学校給食課》 節分、七夕、お月見やクリスマスなどの行事食を取り入れた学校給食を提供した。《学校給食課》 【食に関する指導例】 小学校1年「みんなでかんしゃしてたべよう」、2年「はしのつかいかたをしよう」 3年「学校給食の牛乳について知ろう」、4年「地場産物について知ろう」 5年「食べ物の働きについて知ろう」、6年「バランスのよい食事について考えよう」 中学校1年「朝食の大切さについて知ろう」 【残食率の推移】 ※毎年11月実施の残食調査より			
		H29	H30	R1
	愛知県全体	4.2%	4.9%	5.2%
	豊川市小学生	2.5%	2.9%	4.9%
	豊川市中学生	1.5%	0.3%	1.4%
	【朝食の喫食状況】 ※「食事と生活に関するアンケート」結果より			
	「あまり食べない」「食べない」の割合			
	H29	H30	R1	
豊川市小5	1.9%	2.7%	2.1%	
愛知県小5	2.4%	2.9%	3.2%	
豊川市中2	5.3%	6.3%	8.9%	
愛知県中2	4.6%	4.5%	5.2%	
決算額	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
	— 千円	— 千円	— 千円	
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	食の大切さに関する認識や食への関心が高まり、児童生徒の給食を食べようとする意識が向上し、残食率は減少していたが、ここ数年は、下げ止まりの状況となっている。 栄養教諭も児童生徒の好きなメニューに偏らないよう気を付けながら、バランスのとれた献立の作成を心掛けるなど、おいしい給食の提供に取り組んだ。		
今後の方向性(令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	栄養バランスや食の重要性に対する理解を深める指導を行う。 学校給食の時間や学級活動、教科等の時間の中で、朝食の大切さや生産者への感謝の気持ちをはぐくむ学習を実施する。 「献立表」や、「給食だより」を通じて食育の推進や保護者への啓発を図る。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 学年に応じた内容で食に関する指導が行われていることや、行事をとり入れた献立など、給食を楽しく美味しく食べられるように工夫されている点を評価する。 食の大切さは、子どもたちだけでなく、献立表などを活用するなどして保護者への啓発も図っていくと良いと考える。	
点検評価委員の評価及び意見等	<input type="checkbox"/> 良 好 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	節分、七夕、お月見などの行事食を取り入れた給食の提供や、学年に応じた食に関する指導の実施を評価する。行事等を取り入れた楽しい給食の提供は、児童生徒が食べようとする意欲につながっている。継続して、食の大切さを児童生徒や保護者へも理解していただけるような取組を実施していただきたい。 一方、中学2年生の朝食の喫食状況はやや気になるところである。学校の実態に応じて、保健集会などの機会に朝食の大切さを子どもたちに伝えられると良いと思う。今後も「給食だより」などで食育の大切さを保護者にも伝えて欲しい。「朝食レシピ」など簡単にできる料理等の紹介などもできると良いのではないと思う。		

シートNo.13【担当：生涯学習課】

事業名	文化遺産の保護・活用の環境づくり <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
内容	三河国分寺跡や御油のマツ並木を保護するための土地公有化などを進めるとともに、大橋屋（旧旅籠鯉屋）の利活用を図る。		
実施状況及び成果	<p>文化遺産の保存整備・保護事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三河国分寺跡土地買上事業（実） 令和元年度は、史跡内の個人所有地4筆（2,696.08㎡）の用地取得を行った。 【決算額】 H29 事業実施なし H30 137,396千円 R1 78,907千円 ・大橋屋管理運営事業 平成31年4月24日（水）に開館式を実施、開館以降13,613人の来館があった。 施設のさらなる周知の充実を図るため、工作等含めた各種講座や見学会など、幅広い年代への周知活動を行った。 <p>※令和元年度 予算の執行が無い総合計画実施計画事業 ・御油松並木保存整備事業（実）</p>		
決算額	平成29年度 上記のとおり 千円	平成30年度 上記のとおり 千円	令和元年度 上記のとおり 千円
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	三河国分寺跡土地買上事業を予定どおり実施し、史跡の公有化率が89.1%となった。 大橋屋を予定通り開館することができ、当初の見込みより多くの来館者を受け入れ、十分な利活用が図れた。	
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	三河国分寺跡土地買上事業は、公有化完了を目指し未買収地の地権者と交渉を進める。御油松並木保存整備事業も、保存区域の地権者と公有地化の協議を進める。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 「大橋屋」の保存整備など、文化遺産の保護・活用の環境づくりを推進していることを評価する。継続して、地域の方々と協力して文化遺産の保護・活用に取り組んでいただきたい。また、文化遺産に対する市民の関心を高めるとともに、市外への広報活動にも努めていただきたい。
点検評価委員の 評価及び 意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	三河国分寺跡、御油のマツ並木の土地公有化については、地権者との交渉や協議などもあり努力されていると思う。 「大橋屋」が予定通り開館され、講座等を工夫することにより周知活動が成されたことを評価する。来館者が想定以上であったことは、多くの方々に関心を持っていただけたことであり、評価する。 引き続き、貴重な本市の文化財の保護・活用を図るとともに、市内外への広報活動を続けていただき、多くの方が訪れることを期待します。	

シートNo.14 【担当：生涯学習課】

事業名	文化遺産継承の取組の推進 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続																
内容	祭礼芸能伝承のための支援や、赤坂の舞台を活用した伝統芸能の公開を行うとともに、御油のマツ並木など天然記念物の保護活動を地域住民との協働により進める。																		
実施状況及び成果	<p>文化遺産を継承する取組を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統芸能支援事業（実） 赤坂の舞台を活用して、金沢歌舞伎などの地域の伝統芸能の公演を開催し、約 400 人が来場した。 【決算額】 H29 1,383 千円 H30 1,266 千円 R1 1,302 千円 ・ 無形民俗文化財伝承支援事業（実） 指定無形民俗文化財の伝承支援を目的とし、牛久保の若葉祭の笹踊り用笠、下中大山用笠の新調費用として八幡社へ補助の他、菟足神社の風祭りの菟足神社所有獅子頭の修復に係る補助を行った。 (H30 は菟足神社の風祭り平井区所有幕新調費用として平井区への補助) 【決算額】 H29 1,000 千円 H30 67 千円 R1 668 千円 ・ 御油のマツ並木景観整備事業（実） 御油のマツ並木の保護増殖作業として、地元愛護会と御油小学校が連携し、松並木の古木の種子から育苗し補植を行った。 【決算額】 H29 977 千円 H30 933 千円 R1 961 千円 【御油のマツ並木本数】 <table border="1" data-bbox="443 949 1163 1093"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マツ苗植樹本数</td> <td>15 本</td> <td>15 本</td> <td>16 本</td> </tr> <tr> <td>並木マツ伐採本数</td> <td>9 本</td> <td>26 本</td> <td>13 本</td> </tr> <tr> <td>並木マツ総本数(年度末)</td> <td>325 本</td> <td>314 本</td> <td>317 本</td> </tr> </tbody> </table>				H29	H30	R1	マツ苗植樹本数	15 本	15 本	16 本	並木マツ伐採本数	9 本	26 本	13 本	並木マツ総本数(年度末)	325 本	314 本	317 本
	H29	H30	R1																
マツ苗植樹本数	15 本	15 本	16 本																
並木マツ伐採本数	9 本	26 本	13 本																
並木マツ総本数(年度末)	325 本	314 本	317 本																
決算額	平成 29 年度 上記のとおり 千円	平成 30 年度 上記のとおり 千円	令和元年度 上記のとおり 千円																
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	赤坂の舞台歌舞伎公演では、市指定無形民俗文化財の金沢歌舞伎や小屋掛け技術の保存継承に寄与することができた。 無形民俗文化財伝承支援事業では、市指定無形民俗文化財の牛久保の若葉祭、菟足神社の風祭りの伝承支援を図ることができた。 御油のマツ並木景観整備事業では、地域住民らとの協働で保護活動を進めることができた。																	
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	伝統芸能支援事業として、小屋掛けの会と協力しながら、市指定有形民俗文化財「赤坂の舞台」を活用するなかで、地域に伝わる伝統芸能の普及・推進を図る。 御油のマツ並木景観整備事業として、地域住民と協働し、マツ並木の保護増殖作業などの取組を行う。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 地域の方と子どもたちが連携して保護増殖作業を行うことも大変意義があるため、今後も継続して実施していただきたい。 伝統芸能が次世代へ続いていくよう、引き続き支援をしていただきたい。																
点検評価委員の 評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	各地区に残る伝統芸能の普及、推進を図るなど、文化遺産を継承するための様々な取組や支援が行われていることを評価する。文化遺産の継承は、地域住民と次世代の子どもたちに、その大切さと誇りをもてるような支援が大切だと考える。 今後も伝統芸能が次世代に受け継がれていくよう支援を続けていただきたい。																	

シートNo.15 【担当：生涯学習課】

事業名	平和学習の推進 <input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
内容	豊川海軍工廠平和公園を活用した豊川市独自の平和学習の取組を進める。		
実施状況及び成果	<p>・開園以降、さらなる周知の充実を図るため、工作等含めた各種講座や見学会など、幅広い年代への周知活動を実施した。</p> <p>・語り継ぎボランティアの活躍や各種講座等の実施により、38,235人の来園者があった。</p> <p>【決算額】 H29 161千円 H30 2,322千円 R1 2,431千円</p> <p>【令和元年度各種事業等実績】</p> <p>小学6年生の平和公園見学事業 見学期間：5月23日～11月28日 対象校：市内26小学校 クラス数：56クラス 見学人数：1,877人</p> <p>専門講座 2回実施、体験談を聴く会 3回実施、工作講座 3回実施、工廠跡地見学会 4回実施、 「折り鶴とキャンドルに平和の祈りを」8月3日～8月7日実施、 語り継ぎボランティアと事務局との意見交換等を目的とした定例会や他地域への視察研修を実施 など</p>		
決算額	平成29年度 上記のとおり 千円	平成30年度 上記のとおり 千円	令和元年度 上記のとおり 千円
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	<p>各種講座を定期的実施することにより、年間を通してバランスよく来園者を獲得することができた。また、来園者の年齢層が比較的高い中で、市内全小学校の6年生の見学事業の継続及び親子で楽しめる工作講座の回数を増やすことにより、より幅広い年齢層への周知することができた。</p> <p>語り継ぎボランティアにおいても、定期的な定例会や、ガイド活動等の参考にしてもらうための視察研修を実施することで、語り継ぎボランティア一人一人の知識及びモチベーションの向上に努めることができた。</p>	
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	<p>各種講座や体験談を語る会など、この施設でしか体験できないことを、これからも積極的に実施し、戦争の悲惨さや命の大切さなどを、市内外問わず、より多くの方へ知ってもらえるよう、語り継ぎボランティアの協力を得ながら、継続した取組を行う。</p>	<p><前年度における点検評価委員の主な意見> 平和公園の開園に非常に多くの方々が興味、関心を持ち、想定以上の来園者があったことを評価する。また、語り継ぎボランティアの協力を得て、市内全小学校の6年生が、平和公園で見学事業を実施したことを評価する。戦争の悲惨さ、命の大切さなど学ぶべきことが多くあると考える。 「体験談を聴く会」は、とても貴重な機会であり、大変意義があるので続けていただきたい。</p>
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	<p>豊川市独自の平和学習を実施し、市内の小学6年生が学び、命の大切さを考える機会を提供できたことを評価する。「体験談を聴く会」や各種講座等の実施も来館者の増につながっていると考える。特に、8月3日～8月7日に実施した「折り鶴とキャンドルに平和の祈りを」は、戦争の悲惨と平和をかみしめることができ、工夫された取組であると評価する。豊川市は8月7日を忘れないで、次世代へ伝えていって欲しい。</p> <p>今後も、平和公園独自の講座や「体験談を聴く会」等をボランティアの協力を得ながら継続していただきたい。</p>	

シートNo.16【担当：学校教育課】

事業名	授業研究の推進 <input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
内容	毎年度、研究発表校を指定し、その実践や成果を全ての小中学校で共有する。各教科や領域ごとに研究部会を設け、定期的な研修会や研究授業を実施する。		
実施状況及び成果	<p>教職員の指導や授業力の向上を図るため、授業内容や教材などについての研究を委嘱する研究発表校を4校指定した。指定後3年目に行う研究発表会には、市内の全員教職員と新城地区から35人以上の教職員が参加し、指導力や授業力の向上を図った。</p> <p>各教科・領域ごとに、豊川市教育研究部会を設け、定期的に研修会や研究授業を実施し、専門的な力量向上を図ることができた。特に、子ども同士の対話を大切にし、主体的に学び、考えを深めようとする子どもの育成に寄与できた。</p> <p>【令和元年度 研究発表校及び研究テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御油小学校 「かかわりの中で学びを深める子どもたち ～「教科書」と「+ONE」で国語の授業づくり～」 ・一宮西部小学校 「誰とでも主体的にコミュニケーションをとろうとする子の育成 ～一西小から世界へ Hello!～」 ・赤坂小学校 「思いを伝え合い、学びを深める赤小っ子 ～生活科・総合的な学習を学びの軸として～」 ・東部中学校 「自ら学び、考え、輝く東中生 ～仲間と共感的にかかわり合い、学びを深めることを通して～」 		
決算額	平成29年度 1,240千円	平成30年度 1,240千円	令和元年度 1,240千円
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	研究委嘱校の教職員は、3年間をかけて研究を行うため、授業力向上に繋がっている。市内の教職員が集まって研究発表会を参観することで、豊川の教育について共通理解を図ることができるよい機会といえる。授業についての協議を通して、若手教員が学ぶことも多い。 学習指導要領では、学級・グループ・ペアなどの場を通して、子ども同士の対話を促し、子どもの主体性を育みつつ、考えを深めていこうとする姿をねらっている。この姿に迫る研究が進められ、豊川市内の小中学校に広まっていくきっかけとなっている。	
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	研究委嘱校に指定された学校は、研究発表会後も引き続き研究を推進していることが多い。研究が継続することは、目指す子ども像やそれに向かう手立てが明確になり、より深く研究をすすめることになる。 今後も、研究委嘱を続けることにより現職研修を推進するとともに、研究成果を共有し、豊川市全体の教師の力量向上につなげていく。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 教職員の授業力向上を図ることは、子どもの学力向上に不可欠であり、学級運営への影響も大きい。子どもたちの学校生活を左右するものでもあるため、引き続き教職員の研修や授業研究を進めていただきたい。
点検評価委員の 評価及び 意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	多岐にわたる現職研修が定期的かつ継続的に取り組まれており、個の授業力向上のみならず、全体としての共通理解が深められている点は大いに評価できる。 教職員にとって授業力を高めることは一番の財産となるとともに、子どもたちに分かりやすく魅力ある授業をしていくことで学級経営を円滑にすることにもつながっていく。今後も、子どもの主体的な学びを育むべく力量向上に努めていただきたい。	

シートNo.17 【担当：学校教育課】

事業名	英語指導助手の配置		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他		
内容	小学校の英語科、英語活動と中学校の英語科の授業にAET（英語指導助手）を配置する。		
実施状況及び成果	<p>・英語活動推進事業（実） 市内全小中学校の英語の授業を、AET 16人で分担して行った。また、AETの授業力向上のために、月に1回の研修を行った。 令和2年度の小学校5、6年生の英語の教科化（週2時間）や3、4年生の英語活動（週1時間）の完全実施に向け、AETを14名から16名に増員した。</p>		
決算額	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	57,089（人事課予算）千円	66,801（人事課予算）千円	76,077（人事課予算）千円
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	<p>ネイティブの英語にふれる機会を増やすとともに、英語に慣れ親しむための環境を整えたことで、児童生徒のコミュニケーション能力を育むことができた。また、積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢につながっている。</p> <p>AETの研修会では、互いの授業を見合い、学び合うことで、授業力向上につながった。総括主任AETの下、主任AETを中心としたチームとなり、指導助言を行ったり、各校からのアンケート結果より各自が授業改善に向けての自己評価を行ったりすることで、AET全体の指導力向上につながった。AETと日本人の教師との連携もしっかりととれるようになってきている。</p>	
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	<p>AETの授業力向上に向け、今後も研修、学習会を充実させる。また、AETを活用した授業ができるように各学校の小学校担任、英語専科教員、中学校英語科担当にも授業の工夫を求めている。</p> <p>今後もAETを活用した授業を充実したものにするため、16名の任用を続けていく。</p>	<p><前年度における点検評価委員の主な意見> 小中学校の英語教育は、AETの資質によるところが大きい。AETの増員が予定されているところであるが、引き続き優秀なAETの確保に努めるとともに、教職員の指導力向上のための研修なども実施していただきたい。</p>
点検評価委員の 評価及び 意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	<p>優秀な人材確保はもとより、AETや教職員の授業力向上に向け、積極的に研修に取り組んでいる。また、AETと教職員のさらなる連携に取り組み、成果を上げていることを評価する。</p> <p>担任がAETを有効活用した授業ができるよう、研修の機会を設けると良いのではないかなと思う。令和2年度の5、6年の英語の教科化に伴い、評価の方法などについても共通理解を図っていただきたい。</p>	

シートNo.18【担当：学校教育課】

事業名	英語力向上へ向けた活動の充実		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他		
内容	<p>希望する児童生徒を対象とし、オールイングリッシュの体験ができる「イングリッシュ・デイキャンプ」を開催する。小学校における英語の教科化や中学校における英語で行う授業の実施などに備え、教職員向けの研修を行う。</p>		
実施状況及び成果	<p>・学校教育における英語力パワーアップ事業（実） 希望する児童生徒を対象に「イングリッシュ・デイキャンプ」を開催した。高校との連携を進め、高校生ボランティアの参加協力を得ることができた。 小学校の英語科設立や中学校でのオールイングリッシュ主体の授業に向け、授業のあり方を考える研修を開催した。 教職員への研修の機会を通して、小学校の教諭が、英語活動の授業をイメージできるようになり、自信をもって英語の授業に臨めるようになってきている。</p>		
決算額	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
	899 千円	169 千円	177 千円
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	<p>小学校の英語科や中学校でのオールイングリッシュ主体の授業に向け、英語教育研修会や、小中学校での授業研究会を行った。各校の取組を見直す場にもなり、自校の課題や良さに気づくことにつながった。教育研究部会と連携を図りながら、授業研修会の授業案検討会などを行った。 「イングリッシュ・デイキャンプ」では、小学5年生から中学3年生までのグループに御津高校生が参加した。小中学生の英語への興味関心が高まり、コミュニケーション能力が育成された。</p>	
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	<p>小学校の英語科や英語活動の内容にかかわる研修だけでなく、評価の仕方に関わる研修を行うことで、小学校の教員が自信をもって評価できるようにする。 「イングリッシュ・デイキャンプ」への参加希望者は多く、期待も高まっている。より多くの児童を対象としたコミュニケーションの場となるように、3日間同じ児童が参加するのではなく、違う児童が参加することで人数を増やす。</p>	<p><前年度における点検評価委員の主な意見> 小中学生が英語に慣れるイベントは、英語力向上に大変重要であることから、より多くの児童生徒が参加できるように、高校や大学の協力を得ながら取り組んでいただきたい。</p>
点検評価委員の 評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	<p>オールイングリッシュ主体の授業に向けた各種研修の取組が着実に成果を生み出し、前向きな姿勢を創出している点を評価する。「イングリッシュ・デイ・キャンプ」への参加希望が多いことは、子どもたちが日頃の英語科の授業へ興味をもって取り組んでいる証であると思われる。 英語に慣れ親しむことは、外国語習得のための大きな要素である。イベントに創意工夫を加え、更に充実発展させていきたい。</p>	

シートNo.19 【担当：学校教育課】

事業名	理科教育支援員の配置 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
内容	理科教育支援員を小学校へ派遣し、理科の授業づくりや児童への指導、理科室の経営などへの支援に取り組む。		
実施状況及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・理科教育支援員配置事業（実） 【理科教育支援員の配置人数】1人（一宮西部小、御津南部小、東部小、小坂井東小） ・薬品や消耗品の管理が促され、理科主任の事務が軽減された。 ・支援員がチームティーチングにより説明することで、児童の授業内容理解につながった。 ・薬品等を扱う実験の指導に直接かかわることができ、安全面への配慮が高まった。 ・経験の浅い教職員が、理科授業の進め方について学ぶ機会となった。 理科の授業づくりについては、教科研究部会・教科主任会などで、授業実践について、教職員間で情報共有を進めることができた。		
決算額	平成 29 年度 1,472（人事課予算）千円	平成 30 年度 2,630（人事課予算）千円	令和元年度 2,645（人事課予算）千円
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	理科教育支援員という理科教育の専門性の高い教職員を加配することで、より児童が実験を楽しみ、理科に興味をもって取り組むことができた。それによって、理科の授業の質が向上し、児童の科学に対する関心が高まるという成果が上がっている。 教科研究部会・教科主任会においては、授業実践の報告や効果のある教材・教具について情報共有を行い、分かりやすい授業づくりに向けて指導力の向上を図ることができた。	
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	理科教育支援員については、今後も理科の授業の質を高める支援の方法を工夫していく。特に、実験観察の準備にかかわること、児童の実験観察の機会を増やしたり、質を高めたりすることで、理科好きな児童を増やしていく。 教科研究部会・教科主任会では、教職員間で有効な実験や教材について情報共有を進め、理数教科に対して興味が高まるように工夫していく。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 子どもたちの理科への興味関心をより高めるために支援員の配置は大いに役立っていると考え。また、実験の準備などを補うことで教職員の負担軽減にも繋がっている。 より多くの児童が理科への興味関心が高めるように、支援員の増員を図っていただきたい。
点検評価委員の 評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	支援員の配置により、授業の質の向上や活性化がもたらされ、児童の興味関心が高められている点は大いに評価できる。 理科教育の専門性の高い支援員を有効活用して、理科好きな子どもを育てるよう、今後も続けていただきたい。また、実験準備、薬品管理等による教職員の負担軽減効果は明らかであり、更なる時間数増、増員の検討をお願いしたい。	

シートNo.20【担当：学校教育課】

事業名	ICT機器を活用した授業の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
内容	情報教育に関する教職員の研修や実践交流を行い、指導力の向上に努めるとともに、ICT機器を活用した授業の充実に取り組む。		
実施状況及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ICT教育支援員配置事業（実） 小学校26校を巡回し、ICT活用に関する研修会やプログラミング教育に関する研修会を実施した。また夏期実技研修会の中でICT機器を授業で活用するための講座を設けたり、情報教育主任会の中で実践事例を紹介し合ったりするなど、指導力の向上に努めることができた。 また、タブレット端末を先行的に導入した東部小学校、一宮南部小学校において、いろいろな教科・内容の実践例を集め、各学校で参考となるようにファイルサーバーに蓄積した。		
決算額	平成29年度 — 千円	平成30年度 — 千円	令和元年度 2,645千円
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	情報教育に関する教職員の研修や実践交流により、授業におけるICT機器の活用を促すことができた。特に、プログラミング教育をどの小学校でも実施することができた。 デジタル教科書やコンピュータ教材の活用により、児童生徒の理解促進が図られた。	
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	導入されたタブレット端末等が有効に活用されるようにするため、ICT教育支援員を中学校区に1名ずつ配置に向け、計画を立てる。 ICT教育支援員が中学校区内の小中学校を巡回し、ICT機器を活用した分かりやすい授業ができるよう教員のICT活用力の向上を図る。ICT機器の保守管理をサポートする。 令和3年度、すべての学校に学習者用端末が整備されることに伴って、支援員の増員が早急に必要となる。	<前年度における点検評価委員の主な意見> ICT機器を活用した授業研究が進んでいる。新しい機器の利用について研究を進め、教職員の指導力向上を図り、授業における児童生徒の理解促進を進めていただきたい。 今後、導入された機器等が有効活用されることを期待する。
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	ICTに関しては児童生徒、教職員によって習熟度に差があり、殊に苦手意識を持つ者に対するきめ細やかな配慮と対応が必要である。 今後もICT機器を活用した授業のさらなる充実が求められてくる。機器の有効活用を更に図るべく、ICT教育支援員の充実と教職員の指導力向上のための研修に努めていただきたい。	

シートNo.21【担当：生涯学習課・学校教育課】

事業名	情報モラル教育の推進		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
	<input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
内容	① P T A活動や少年愛護センターによる出前講座などを通じて、携帯電話やスマートフォンなどの利用に関する啓発や情報モラル教育を進める。 ② 小中学校における情報モラル教育に関する指導力向上のため、教職員の研修に取り組む。		
実施状況及び成果	① 豊川市小中学校P T A連絡協議会では、平成26年度に定めた携帯電話・スマートフォン等の利用に関する「市内統一事項」の周知徹底を目指し5月に啓發文書を全家庭に配布するとともに、利用状況等の実態調査や、保護者の意識に関するアンケートを10月に実施し、結果報告を兼ねた啓発パンフレットを3月に配布した。 愛知県の「保護者のための体験！体感！スマホ教室」といった出前講座の利用を保護者や地域の団体に促した。 ② 学校現場では、情報主任会や生徒指導部会等で、情報モラル教育に関する各校の取組の情報交換を行った。各校の取組についての情報交換を通して、子どもへの情報モラルについての指導方法を検討し、力量向上を図ることができた。		
決算額	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	— 千円	— 千円	— 千円
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	携帯・スマートフォン等の利用についてアンケート調査を実施し、その結果をパンフレットにして全家庭に配布することで、意識を高める手立てとなった。 また、市P連代表者会にて携帯・スマホ安全教室を開催し、講師に危険性を詳しく説明していただくことで、より安全な利用に努めるよう啓発することができた。 各学校においても児童、生徒、保護者対象の携帯・スマホ安全教室を実施し、学校と家庭が協力して子どもたちを守る対策に取り組めた。	
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	携帯・スマートフォンアンケートの内容にインターネット利用についての保護者の意識を調査する項目を入れ、子どもたちがより安全に利用できるような資料提供をしていきたい。 また、保護者の意見や悩みなどをまとめ、各学校とも情報を共有していきたい。	<前年度における点検評価委員の主な意見> SNSの活用については、小学生の頃からしっかりした情報モラルを持つことが必要である。今後も、家庭と学校が連携して、児童生徒の情報モラルの向上を図っていただきたい。
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	アンケート調査の実施や携帯電話等の利用に関する「市内統一事項」の周知を図っていることを評価する。また、児童生徒・保護者に向けた研修や教職員が情報モラルに関する活動の情報交換の機会を持つなど、実態に即した取組を進めている点を評価する。 今後も、子どもたちが安全に利用できるよう、家庭と学校の連携を図り、児童生徒の情報モラル向上に努めていただきたい。	

シートNo.22【担当：学校教育課】

事業名	E S Dの視点に立つ学習活動の推進 <input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
内容	小中学校の社会科や理科などの学習において、現代社会の課題を地球規模の幅広い視野で捉え、自らの問題として考えるE S Dの視点を取り入れた学習活動を行う。		
実施状況及び成果	小中学校の社会科や理科などの教科の学習の中で、ゴミ問題やエネルギー問題など地球規模の問題として捉え、E S Dの視点を取り入れた学習活動を行うことができた。 また、総合的な学習の時間や社会科、理科などの教科学習を活用し、身近な地域の環境を題材とする学習を行うことで、児童生徒の環境保全の重要性に対する理解を深めることができた。 環境課と連携し、環境課が作成したエコカレンダーを活用し、小学校5年生を中心に、家庭での生活とも関連させて、身の回りの環境を考えさせる学習を実施することができた。		
決算額	平成29年度 — 千円	平成30年度 — 千円	令和元年度 — 千円
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	学校におけるE S Dに対する認識は少しずつ高まってきており、環境問題を教材として取り入れる学校もある。教科や総合的な学習で小・中学校におけるE S Dの取組を各校に紹介し、さらなる普及を図る必要がある。	
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	引き続き、各学校や地域における「持続可能な社会」についての認識を教職員の間で共有し、環境や社会に関心を持ち、自発的に考えて行動できる児童生徒を育成するため、今後も、教科学習の中でE S Dの視点を取り入れて、自らの問題として考えられるように進めていく。	<前年度における点検評価委員の主な意見> E S Dの視点に立った学習活動を、未来を担う子どもたちの心にしっかり刻み、自ら考え行動できる人に成長してもらいたい。 引き続き身近な環境を教材とした環境保全、E S Dの考え方を取り入れた学習を推進していただきたい。
点検評価委員の 評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	E S Dの視点を取り入れた学習活動は、次世代を担う子どもたちに大変意義のあることである。E S Dの視点に立った実践として、レジ袋やプラスチック廃止など、子どもたちの目前で予想を超える速さと勢いを持って取り組まれている。時代転換の直中に立っている実感を大切に、より適切な教材選択や授業研究に努め、環境や社会に関心を持って行動できる子を育てていただきたい。	

シートNo.23【担当：学校教育課】

事業名	日本語指導助手の配置 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他			新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続												
内容	日本語指導助手が日本語を十分に話せない児童生徒が在籍する学校を訪問し、日本語指導や文書の翻訳、保護者対応時の通訳などを行う。日本語指導助手や日本語教育適応学級の教職員が情報交換や事例研究を行い、日本語指導や教科指導の充実に取り組む。															
実施状況及び成果	<p>・外国人児童生徒教育推進事業（実） 通訳・翻訳ができる日本語指導助手を、日本語が十分理解できない外国人児童生徒等が在籍する学校に派遣し、訪問指導による日本語指導や教科指導の補助、並びに文書の翻訳、保護者の対応時の通訳等を行った。11校に配置された日本語適応学級担当教職員を中心として、日本語指導の充実を図った。 外国人児童・生徒の実態に応じて、取り出し指導や入り込み指導を担当教職員とともに行うことにより、日本語指導や教科学習への理解が深まり、学校への適応も増している。 月に1度、各校の情報交換をする時間を確保し、外国人児童生徒教育の充実を図った。 教育委員会で勤務する時間を確保し、教育委員会窓口へ来庁する外国籍の保護者の対応や外国語による保護者宛文書の書類整備を進めることができた。</p> <p>【外国人児童生徒数及び外国人日本語指導助手数】</p> <table border="1" data-bbox="368 831 1267 976"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外国人児童生徒数</td> <td>369人</td> <td>385人</td> <td>424人</td> </tr> <tr> <td>外国人日本語指導助手数</td> <td>嘱託 7人 パート 3人</td> <td>嘱託 7人 パート 3人</td> <td>嘱託 7人 パート 3人</td> </tr> </tbody> </table>					H29	H30	R1	外国人児童生徒数	369人	385人	424人	外国人日本語指導助手数	嘱託 7人 パート 3人	嘱託 7人 パート 3人	嘱託 7人 パート 3人
	H29	H30	R1													
外国人児童生徒数	369人	385人	424人													
外国人日本語指導助手数	嘱託 7人 パート 3人	嘱託 7人 パート 3人	嘱託 7人 パート 3人													
決算額	平成29年度 28,042（一部人事課予算）千円	平成30年度 27,669（一部人事課予算）千円	令和元年度 28,266（一部人事課予算）千円													
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	外国人児童生徒及び保護者に対して、日本語指導以外にも通訳や文書翻訳など様々な業務の支援を実施し、学校、保護者、児童生徒にとっての負担軽減に大いに貢献した。 外国人児童生徒の保護者の中には日本語を理解できない方も多く、日本語指導助手は、進路相談をはじめ、様々な内容での相談において欠かせない存在となっている。 外国人児童生徒は、学習用語が理解できず、学校生活に支障を来していることが多く、効果的な支援の在り方について更なる検討が必要である。														
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	今後も、授業を理解できずにいる外国人児童生徒に対する教科指導法について、日本語指導助手と各校の担当教職員が連携し、個別の指導計画を作成し、個に応じた取組を実施していく。 多言語化し、急激に増加している外国人児童生徒及びその保護者との意思疎通を図り、連携を深めていくため、日本語指導助手の増員、コーディネーターの配置、翻訳機の導入を検討していく。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 今後も、外国人児童生徒の増加に対して、日本語指導助手の増員などの対応をしていただきたい。今後も子どもたちが充実した学校生活を送ることができるように支援を続けていただきたい。													
点検評価委員の 評価及び 意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	実態に即した指導助手の配置、個に寄り添った指導が取り組まれていることを評価する。 今後も児童生徒の充実した学校生活の実現のために指導助手の増員、翻訳機器等の導入を進め、子どもたちが日本で学べるようになって良かったと思えるような支援を続けていただきたい。														

シートNo.24【担当：学校教育課】

事業名	特別支援教育支援員の配置		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
	<input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
内容	特別支援教育支援員を配置し、移動時や給食時、排泄時の介助、事故防止などに取り組む。				
実施状況及び成果	<p>特別な支援の必要な児童生徒の事故防止および移動時、給食時、排泄時の介助等に関する業務を行うため、必要な学校に対し特別支援教育支援員を配置した。児童生徒の学校活動に合わせ1日5時間の業務を行った。</p> <p>障害の有無に関わらず、ともに学ぶインクルーシブ教育を推進することを目的とした事業の一環として、小中学校に通う医療的ケア（痰の吸引、経管栄養、導尿等）を必要とする児童生徒を対象に、平成28年度より看護師を配置した。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 【特別支援教育支援員】 H29年度 19人 H30年度 14人 R1年度 12人 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 【看護師】 H29年度 2人 H30年度 2人 R1年度 2人 </td> </tr> </table>			【特別支援教育支援員】 H29年度 19人 H30年度 14人 R1年度 12人	【看護師】 H29年度 2人 H30年度 2人 R1年度 2人
【特別支援教育支援員】 H29年度 19人 H30年度 14人 R1年度 12人	【看護師】 H29年度 2人 H30年度 2人 R1年度 2人				
決算額	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	23,798千円	19,159千円	16,938千円		
自己評価	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった </td> <td style="width: 70%; vertical-align: top;"> <p>インクルーシブ教育の推進により、児童生徒及び保護者が地元の小中学校での学習や子育てを通して、より深い関わりを持つことが可能になった。支援員を配置していた児童生徒が卒業するなどして支援員の配置が年度により増減はあるものの、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう配置できていると考える。</p> <p>また、支援員、看護師の配置により、児童生徒の身辺処理や安全確保ができ、学級担任の負担を大きく軽減することができた。</p> <p>障害に応じた研修会を企画して介助方法など専門性を高め、医療機関との連携を強くし、適切な支援をしていく必要がある。</p> </td> </tr> </table>			<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	<p>インクルーシブ教育の推進により、児童生徒及び保護者が地元の小中学校での学習や子育てを通して、より深い関わりを持つことが可能になった。支援員を配置していた児童生徒が卒業するなどして支援員の配置が年度により増減はあるものの、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう配置できていると考える。</p> <p>また、支援員、看護師の配置により、児童生徒の身辺処理や安全確保ができ、学級担任の負担を大きく軽減することができた。</p> <p>障害に応じた研修会を企画して介助方法など専門性を高め、医療機関との連携を強くし、適切な支援をしていく必要がある。</p>
<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	<p>インクルーシブ教育の推進により、児童生徒及び保護者が地元の小中学校での学習や子育てを通して、より深い関わりを持つことが可能になった。支援員を配置していた児童生徒が卒業するなどして支援員の配置が年度により増減はあるものの、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう配置できていると考える。</p> <p>また、支援員、看護師の配置により、児童生徒の身辺処理や安全確保ができ、学級担任の負担を大きく軽減することができた。</p> <p>障害に応じた研修会を企画して介助方法など専門性を高め、医療機関との連携を強くし、適切な支援をしていく必要がある。</p>				
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	可能な範囲で地元の小中学校に通わせたいと願う保護者は増加している。今後も個に応じた、人的支援を継続していく。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 特別な支援を必要とする児童生徒に対し、特別支援教育指導員を適切に配置し、学校での生活の安全性が確保されている。今後も支援を必要とする児童生徒の日常生活が、安全で安心できるものとなるよう特別支援教育指導員の配置をしていただきたい。		
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	<p>特別支援教育指導員や看護師が適切に配置され、個に応じた支援により、児童生徒の学校生活での安心安全が確保されていることを高く評価する。</p> <p>支援を要する児童生徒に関する研修を通じ、教職員の共通理解を深めることは学級担任の負担軽減にもつながるため、積極的に取り組んでもらいたい。</p>			

シートNo.25【担当：学校教育課】

事業名	学級運営支援員の配置		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続																	
	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他																			
内容	個別の支援を必要とする児童生徒がいる学級へ学級運営支援員を配置し、個別的な指導やチームティーチング指導を実施する。																			
実施状況及び成果	・学級運営支援事業（実） 教員免許を有する「学級支援員」と、教員免許を有しない補助的支援員である「個別支援員」に分けて任用し、学級や児童生徒の状況に応じた柔軟な支援体制を整えている。 「学級支援員」はチームティーチングや少人数指導等の授業法の工夫によって学習成果を期待する学級に配置し、「個別支援員」は児童生徒の落ち着きが必要な学級に対し長期的に配置した。 令和元年度は、173 学級から申請があり、74 学級に配置を行った。																			
	【学級運営支援員の配置人数】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">学級運営支援員合計</th> <th colspan="2">内 訳</th> </tr> <tr> <th>学級支援員</th> <th>個別支援員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>64 人</td> <td>9 人</td> <td>55 人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>70 人</td> <td>9 人</td> <td>61 人</td> </tr> <tr> <td>R 1</td> <td>74 人</td> <td>5 人</td> <td>69 人</td> </tr> </tbody> </table>				学級運営支援員合計	内 訳		学級支援員	個別支援員	H29	64 人	9 人	55 人	H30	70 人	9 人	61 人	R 1	74 人	5 人
	学級運営支援員合計	内 訳																		
		学級支援員	個別支援員																	
H29	64 人	9 人	55 人																	
H30	70 人	9 人	61 人																	
R 1	74 人	5 人	69 人																	
決算額	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度																	
	45,078 千円	50,334 千円	54,300 千円																	
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	学級運営支援員の配置により、対象児童の学習支援の充実に加え、学級全体が落ち着き、他の児童生徒の学習環境の改善につながった。 6 月からの配置を 4 月からに変更したことにより、新学期から円滑に学級運営ができています。																		
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	発達障害を疑われる児童生徒、診断された児童生徒が通常学級に在籍することが増加しており、学校からの配置希望が増えている。また、重度の障害のある児童生徒でも可能な範囲で地元の小中学校に通わせたいと願う保護者もあるため、きめ細かな指導により、学校生活を安心・安全に送ることができるよう、人的支援を整えて行く。 今後も 4 月から必要に応じて小中学校に複数配置することで、新学期からより円滑に学級運営できるようにする。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 配慮が必要な児童生徒の状況に応じて、学級運営支援員の配置を希望する学級数が増加していることから、引き続き学級運営支援員の増員、確保をお願いしたい。対象児童の増加に対しては、幼稚園・保育園と連携した取組も大切であると考えます。																	
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	学級の実情に即して柔軟な支援体制が整えられている点を高く評価する。 4 月から支援員を配置することは、新学期から学級運営が円滑にスタートでき、子どもたちの学習意欲も高まると考える。しかし、配置学級を前学年末時点で決めなくてはならず、特に 1 年生は 4 月からの配置が難しいため、余裕を持って支援員を確保することも大切である。引き続き支援員の増員をお願いしたい。 今後、児童をめぐり情報共有を進めるためにも、幼稚園・保育園との連携を更に進めていただきたい。																		

シートNo.26【担当：学校教育課】

事業名	就学援助の実施				新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
	<input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
内容	経済的な理由によって就学が困難な児童生徒の保護者に対して、小中学校で使用する学用品や給食などに必要な費用を援助する。						
実施状況及び成果	令和元年度 援助内容（年額）及び支給人数						
	援助費目	対象学年及び支給額				支給人数	
	学校給食費	認定給食費分を直接豊川市会計へ入金				小 859人	中 501人
	学用品費 (通学用品費含)	小1年	11,520円	その他学年	13,770円	小 861人	中 520人
		中1年	22,510円	その他学年	24,760円		
	新入学児童生徒 学用品費	小1年	50,600円	中1年	57,400円	小 109人	中 173人
		修学旅行費(上限)	小6年	21,670円	中3年	50,000円	小 194人
	校外活動費(上限)	小学校	3,650円	中学校	6,150円	小 137人	中 162人
医療費	自己負担分全額				小 8人	中 1人	
決算額	平成29年度		平成30年度		令和元年度		
	115,202千円		110,234千円		108,872千円		
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった		経済的な理由によって就学が困難な児童生徒の保護者に対し援助することにより、義務教育の円滑な実施の一助とすることができた。 平成30年度からは、医療費に関して、要保護児童生徒や保険証を持たない児童生徒に対し、学校保健安全法施行令第8条に定める疾病の治癒に要する経費を支給しており、令和元年度は9名に支給できた。 また、国の予算単価の増額に合わせ、中学校の修学旅行費を除き、支給額の増額を行い、就学援助受給世帯の家計援助の拡充ができ、より円滑な義務教育の実施に繋ぐことができた。				
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	令和2年度も、平成30年度に増額した中学校の修学旅行費を除き、国の予算単価に合わせ増額を行い、経済的な理由によって就学が困難な児童生徒の支援を拡充する。		<前年度における点検評価委員の主な意見> 援助を必要とするすべての児童生徒や保護者に制度が周知され、援助が円滑に実施できるようにしていただきたい。			
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	制度の適切な運用が進められ、多くの経済的に困窮する家庭を援助し、義務教育の円滑化に貢献できたことは高く評価できる。 今後も、制度の周知に努め、援助の円滑な実施がなされることを期待する。					

シートNo.27【担当：学校教育課】

事業名	働くことの意義を体感する職場体験学習の実施 <input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
内容	中学校2年生が、身近な職業に目を向けながら職業観を広める情報を得たうえで、自分で選択した事業所へ出向いて活動する職場体験学習を行う。		
実施状況及び成果	<p>多くの事業所の協力を得て、全中学校の2年生を対象とする3日間の職場体験学習を実施した。生徒らは、視野を広げ、働くことの意味や生きがい、苦労などを理解し、将来の夢を持つようになったり、進路選択に役立てたりしている。また、仕事を通して人と人とのふれあい、挨拶や言葉遣い、礼儀などの大切さも実感することができた。</p> <p>【職場体験先】 病院、飲食店、保育園、福祉施設、製造業工場など</p> <p>キャリアスクールプロジェクト事業として、キャリア教育の視点を取り入れた体験学習に取り組むとともに、学習を見通したり、活動を振り返ったりすることで、キャリア形成につなげていく働きかけを行うことができた。</p>		
決算額	平成29年度 335千円	平成30年度 335千円	令和元年度 471千円
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	職業人による講話や実際に働くことの体験活動により、将来の職業や生き方について、自らの考えを深めるよい機会となった。 地域の実情に合った講師の選定や活動内容の計画を、各学校で考えることができ、生徒たちの働くことに対する意識が高まった。	
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	児童生徒たちの発達段階に応じて系統的にキャリア教育を進め、働くことや自身の生き方について、意識させることは大変意義がある。今後も、地域と連携して、キャリア教育を継続していきたい。 中学生の職場体験活動については、今後も引き続き、事業者の協力を得ながら、取組を充実させていく。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 児童生徒にとって働くことの意義を学ぶことは、大変重要である。地域を軸としたキャリア教育を進めていくことは、ふるさとを大切に作る心にも繋がっていくと考える。 職場体験学習は、生徒が広い社会で、夢を育み、自分を見つめ直す良い機会であることから、より多くの事業所の協力を得て充実させていきたい。
点検評価委員の 評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	児童生徒にとって、働くことの現実に触れることは大変有意義である。また、職場体験学習は、児童生徒が自分自身で行動しなければならず、貴重な体験となっている。 今後、新型コロナウイルスの影響により、従来の実施形態や規模を維持を維持することが大変困難となることが予測される。より多くの事業所の理解を得るべく、市を挙げての連携をもって取り組んでもらいたい。	

シートNo.28【担当：学校教育課】

事業名	教職員研修の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
内容	<p>経験年数の少ない教職員に対しては、ファーストステップ研修や研究員研修などにより授業の基礎・基本を習得できるような実践的演習を行う。中堅の教職員に対しては、学校の中核を担うための演習を行うなど、経験年数や課題、希望に応じて指導力、授業力、使命感などを高める各種研修を実施する。授業力向上のために作成したリーフレット「豊川の授業 16のポイント」を活用し、各小中学校における日常的な職場内研修に取り組む。</p> <p>教職員を対象とし、国内の先進的な学校や教育機関などに派遣する研修を行い、そこで得た情報を市の施策に生かすとともに、各小中学校における情報共有に取り組む。</p>		
実施状況及び成果	<p>・教員研修事業（実） 必要なタイミングで必要なカリキュラムを厳選し、各種研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任教職員 実践的指導力と使命感の育成 ・1、6、11年目と希望者 著名な講師を招いての授業力向上に役立つ実践的演習研修や講演会 ・42歳の全教職員 学校の中核となる中堅教職員の資質向上（法規演習や授業研究など） ・小学校教職員 理科、体育、図工、音楽、家庭科、英語などの夏期実技研修会 ・2年～5年目の若手教職員 ファーストステップ研修として、授業力の向上をめざす協議会・講演 ・国内研修 国内の先進的な学校や教育機関に派遣し、校長会等で発表・伝達 ・研究員研修 若手教員の授業に対する資質向上を図る。 <p>【参加者数】 初任者研修会：36人 中堅教員研修会：23人 夏期実技研修会：約500人 ファーストステップ研修会：128人 授業力向上研修会：約300人 国内研修：3人 研究員研修：10人</p> <p>若い教職員は子どもを把握し、学級を運営する力や授業力を向上させることができた。また、中堅の教職員はミドルリーダーとしての力量向上を図ることができた。国内研修では、「教育情報化に向けた取組」「スクールロイヤー制度」「市としての政策方針および公共施設マネジメントの実際」を学び、校長会などで報告を行い、教職員の力量向上を図ることができた。</p>		
決算額	平成29年度 1,748千円	平成30年度 2,159千円	令和元年度 2,235千円
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	<p>教職の経験年数や各自の必要性に応じて、各種研修を実施した。著名な講師の指導が授業の即戦力になり、各研修での学びは、授業力や使命感の育成につながっている。</p> <p>先進地での取組を研修成果として持ち帰り、校長会、教頭会、教務主任会等で発表し、豊川市の事業改善についての手掛かりとして情報提供することができた。</p>	
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	<p>若手が増える中で、教職員の力量向上が求められているため、各段階に応じた実践的研修を実施し、若手教職員のさらなる指導力向上に繋げるとともに、リーダー育成のための研修の充実を図る。</p> <p>研修で得た知識や情報を他の教職員や学校に発信することで、研修成果がより多くの教職員に行き渡るように工夫する。</p>	<p>＜前年度における点検評価委員の主な意見＞ 教職員一人一人が、研修研究に取り組むことが、豊川市の教育活動の活性化に繋がりが、ひいては児童生徒の成長に大きく関わることから、引き続き研修を充実させていただきたい。</p>
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	<p>教職員の授業力や指導力の向上に向け、経験年数や役職等に応じた様々な実践的研修が実施されていることを評価する。教職員が自ら学ぶ姿勢こそ、子どもたちに学ぶことの大切さを伝えられると考える。</p> <p>全教職員が児童生徒の理解を深め、授業力や指導力などの力量向上に向けて更なる研鑽を期待する。</p>	

シートNo.29【担当：生涯学習課】

事業名	とよかわオープンカレッジの育成・支援		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続															
	<input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他																	
内容	多様な講座を安価で提供するとよかわオープンカレッジを支援するとともに、市民の「教えたい」という自己実現の場を提供し、学びを生かした講師の育成を進める。																	
実施状況及び成果	市民の学習成果を活用し、市民が共に学びあう市民参画型生涯学習システム「とよかわオープンカレッジ」は開校 11 年目で、親子向け講座を含めた通常講座 339 講座を開設し 4, 249 人の受講者の参加を得た。新型コロナウイルス感染症予防のため、3 月開催予定の講座は中止となった。																	
	【受講者数】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">年度</th> <th style="width: 50%;">講座（事業名）</th> <th style="width: 20%;">参加人数</th> <th style="width: 20%;">（うち親子向け講座）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>通常講座 356 講座（うち親子向け 63 講座）</td> <td>4, 775 人</td> <td>（ 764 組）</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>通常講座 345 講座（うち親子向け 61 講座）</td> <td>4, 633 人</td> <td>（ 721 組）</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>通常講座 339 講座（うち親子向け 60 講座）</td> <td>4, 249 人</td> <td>（ 590 組）</td> </tr> </tbody> </table>			年度	講座（事業名）	参加人数	（うち親子向け講座）	H29	通常講座 356 講座（うち親子向け 63 講座）	4, 775 人	（ 764 組）	H30	通常講座 345 講座（うち親子向け 61 講座）	4, 633 人	（ 721 組）	R1	通常講座 339 講座（うち親子向け 60 講座）	4, 249 人
年度	講座（事業名）	参加人数	（うち親子向け講座）															
H29	通常講座 356 講座（うち親子向け 63 講座）	4, 775 人	（ 764 組）															
H30	通常講座 345 講座（うち親子向け 61 講座）	4, 633 人	（ 721 組）															
R1	通常講座 339 講座（うち親子向け 60 講座）	4, 249 人	（ 590 組）															
決算額	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度															
	1, 000 千円	1, 000 千円	1, 000 千円															
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	新型コロナウイルスによって、参加人数や講座数の減少が見られた。新型コロナウイルスの影響を除けば現在も高水準で受講者数が推移していることから事業効果は高かったと思われる。また講座開催場所の確保が難しくなってきたことから、適正な事業規模に近づきつつあると考えられる。																
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	市民参画型生涯学習システムとしての「とよかわオープンカレッジ」の認知度を上げ、市民の学習機会の拡大を図るため活動費の補助及び助言を継続して行う。 また、親子向け講座の開設を一層推進し、子育て世代の学習機会のさらなる拡充を図る。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 多種多様で充実した講座を「市民の学びの場」として提供していることを高く評価する。今後も、講師の方々の協力を得ながら、受講生の人数や開催場所など、スケジュールの調整を行い、多様な講座を市民に提供していただきたい。															
点検評価委員の 評価及び 意見等	<input type="checkbox"/> 良 好 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	市民の多様なニーズに応えた学びあいの場を数多く提供し、高水準で受講者数が維持されていることを評価する。また、開催場所の確保が困難になるほど、市民からの要望に応じているものと評価する。 とよかわオープンカレッジの周知や講師の発掘を更に進め、学習機会の拡充・支援を図っていただきたい。また、講師の指導力向上に向けた支援なども期待する。																

シートNo.30【担当：生涯学習課】

事業名	地域生涯学習の推進		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続							
	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他									
内容	地区市民館や公民館、生涯学習会館といった身近な施設で展開する地域生涯学習講座において、各地域に根ざした特色ある講座や防災、子育て、介護などの地域課題に関する講座を開催する。									
実施状況及び成果	・地域生涯学習事業（実） 38人の生涯学習推進員を委嘱し、公民館・市民館・生涯学習会館といった身近な施設で、地域の特色を生かした講座や親子を対象とした講座を、地域生涯学習講座として開催した。 東三河連携講座を開催するなど、行政と市民との連携だけでなく、近隣市町との連携による学習の場づくりにも努めた。 【受講者数】									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域生涯学習講座</td> <td>5,268人</td> <td>5,382人</td> <td>5,574人</td> </tr> </tbody> </table>				H29	H30	R1	地域生涯学習講座	5,268人	5,382人
	H29	H30	R1							
地域生涯学習講座	5,268人	5,382人	5,574人							
決算額	平成29年度	平成30年度	令和元年度							
	3,593千円	3,568千円	3,589千円							
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	地域の特色を生かした講座や、男性や親子を対象とする講座を開催することができ、地域の伝統文化の継承に寄与することができた。								
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	今後も魅力ある講座開催を心掛け、地域の再発見、伝統文化の継承、子育て、アンチエイジングなどの地域課題への対応と地域コミュニティの形成に寄与できるように努め、地域の教育力の向上を図る。 企業連携講座の推進を図り、講師や会場の発掘に努めていく。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 地域の特色を生かした講座が身近な施設で開催され、市民の学習の場として定着していることを評価する。 引き続き、地域のニーズに合った魅力ある講座の充実を図り、幅広い世代が参加できるようにしていただきたい。							
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	市民にとって身近な施設において、多彩な魅力ある講座が多くの支持を得て開催され、見事に定着している点は高く評価できる。 地域の伝統文化等に合った魅力ある講座の充実を期待するとともに、地域の特色の再認識につながる新たな講師やテーマの発掘などに努めていただきたい。また、広報周知に工夫を加えた取組を期待する。								

シートNo.31 【担当：中央図書館】

事業名	ジオスペース館を活用した学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他			新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続												
内容	太陽と地球環境をテーマとするプラネタリウム番組の上映を行うとともに、星空観望会や望遠鏡工作教室を開催し、児童や生徒、学生に対する学習支援に取り組む。															
実施状況及び成果	<p>・プラネタリウム有効活用事業（実） ・プラネタリウム機器更新事業（実）</p> <p>毎年実施している市内小学校4年生対象のプラネタリウム学習事業、保育園・幼稚園年長対象のプラネタリウム送迎事業を実施したほか、星空観望会や望遠鏡工作教室、親子お天気教室などのイベントを開催し、子どもたちの天文に対する関心を高めることができた。</p> <p>また、プラネタリウムドームの有効活用を図るため、ファミリーコンサートや星空コンサートの開催を始め、高校の学校行事等での専用利用（貸館）への対応や市役所農務課とのコラボによるバラを活用したリラクゼーションイベントを開催するなど、新たな有効活用に取り組むことができた。他にも、360度カメラで市内の観光地などを撮影したプラネタリウムで利用者に楽しんでもらうためのシティセールス番組を作成した。</p> <p>プラネタリウム機器更新工事のため3カ月間休館したが、星空の生解説や魅力あるプラネタリウム番組を上映することにより、1か月当たりの来館者数は、令和元年度は172名と平成30年度を大きく上回ることができた。機器更新工事では老朽化したプラネタリウム機器のうち、デジタル投影機、音響システム、効果照明装置、これらを制御する総合コンソールなどについて、機器更新工事を行い、投影事業の安定的な運用を実現することができた。</p> <p>【ジオスペース館入場者数】</p> <table border="1" data-bbox="300 947 1131 1061"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プラネタリウム上映</td> <td>12,675人</td> <td>12,698人</td> <td>10,307人</td> </tr> <tr> <td>イベント等</td> <td>1,427人</td> <td>1,566人</td> <td>1,544人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※プラネタリウム上映は、特別上映を含む。</p>					H29	H30	R1	プラネタリウム上映	12,675人	12,698人	10,307人	イベント等	1,427人	1,566人	1,544人
	H29	H30	R1													
プラネタリウム上映	12,675人	12,698人	10,307人													
イベント等	1,427人	1,566人	1,544人													
決算額	平成29年度 30,748千円	平成30年度 27,558千円	令和元年度 195,855千円													
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	<p>子ども向けのイベントや講座では多くの子どもたちの参加があり、星や宇宙などへの関心を高めることができた。</p> <p>プラネタリウム番組については、関係者の意見も聞いたうえで選定し、子ども向け番組では人気アニメをモチーフとした「ちびまる子ちゃん それでも地球はまわっている」を採用し、高評価を得た。</p> <p>プラネタリウム機器更新工事では、遅滞なく、予定どおりに、工事を終えるとともに、建築課や施工業者との打ち合わせを密に行い、より使いやすくて質の高い投影を行える環境へ改善することができた。</p>														
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	<p>今後も魅力ある番組選定や市民の関心を高められるイベントを実施する。</p> <p>令和2年度は、5月末まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館したが、6月以降は、入場者数、土日祝日の投影回数を減らしたり、シートの消毒や館内の換気を行うなど細心の注意を払いながら上映を行う。</p> <p>令和3年度には光学式プラネタリウムの更新、ドームスクリーンの塗り替え等を行う予定である。</p>	<p><前年度における点検評価委員の主な意見></p> <p>ジオスペース館が多くのイベントで活用され、市民の宇宙への関心を高めながら親子で楽しめる場として充実していることを評価する。また、障害者や高齢者などにも視聴しやすいように環境整備を行ったことを評価する。</p> <p>今後も魅力ある番組の選定や様々なイベントを計画し、有効活用していただきたい。</p>													
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	<p>施設の有効活用のため、多彩なイベントを提供するなど工夫を凝らした取組の実践に努め、市民の興味、関心を高めたことを評価する。</p> <p>引き続き、宇宙に興味、関心を持つ児童生徒や子育て中の親子などにも足を運んでいただけるよう魅力あるイベント、講座等を企画していただきたい。今後、ハード・ソフト両面の更新が進むにあたり、更なる魅力の発信に努めていただきたい。</p>														

シートNo.32 【担当：学校給食課】

事業名	地域とつながる食育の推進		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続																				
	<input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他																						
内容	① 地域の特産品を学校給食に使用する「豊川産〇〇の日」のイベント給食を実施するとともに、農家の方を学校に招いての「生産農家との会食会」など地産地消の推進に関する取組を実施する。 ② 児童生徒の参加による「地場産物を使用した学校給食献立コンクール」の開催を通じて地産地消の理解を深める。																						
実施状況及び成果	本市の農産物を使用した「豊川産〇〇の日」を実施するなど地元産の旬の食材を取り入れるイベント給食を積極的に実施した。 「地場産物を使用した学校給食献立コンクール」を開催した。児童生徒から 408 点の応募があり、書類審査・試食審査により最優秀賞・優秀賞・入選・佳作・特別賞の 38 作品を表彰した。 【イベント給食「豊川産〇〇の日」】 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td></td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>54回</td> <td>42回</td> <td>36回</td> </tr> <tr> <td>品目</td> <td>14品目</td> <td>13品目</td> <td>16品目</td> </tr> </table> ※令和元年度実施品目：ミニトマト・青じそ・グリーンアスパラガス・はくさい・トマト・だいこん・根深ねぎ・キャベツ・いちご・オクラ・なす・きょうほう・柿・ブロッコリー・はねぎ・ピーマン 【学校給食献立コンクール】 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td></td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>応募作品数</td> <td>205件</td> <td>186件</td> <td>408件</td> </tr> </table>				H29	H30	R1	回数	54回	42回	36回	品目	14品目	13品目	16品目		H29	H30	R1	応募作品数	205件	186件	408件
	H29	H30	R1																				
回数	54回	42回	36回																				
品目	14品目	13品目	16品目																				
	H29	H30	R1																				
応募作品数	205件	186件	408件																				
決算額	平成 29 年度 27 千円	平成 30 年度 37 千円	令和元年度 39 千円																				
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	イベント給食「豊川産〇〇の日」の実施回数は3月の学校休業の影響で伸び悩んだものの、品目については前年度を上回った。 「地場産物を使用した学校給食献立コンクール」の応募用紙を全児童生徒に配布するなどして周知に努め、応募作品数を大きく伸ばした。 どちらも地場産物への理解促進を図ることができた。																					
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	ひまわり農協との連携により、イベント給食の実施回数と品目数が増加するよう努力していく。 また、ひまわり農協以外の青果業者とも協力して納入可能な食材の掘り起こしや確保について努力していく。 献立コンクールの最優秀賞・優秀賞作品については給食献立に採用する。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 児童生徒が、地域の農産物に興味関心を持ちながら地域の産業に対する理解を促進するうえでも、今後もイベント給食や、学校給食コンクールを充実させていただきたい。また、食材の掘り起こしや、新しいメニューの開発にも心がけていただきたい。																				
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	地産地消推進に向け、ひまわり農協や地域農家と連携してイベント給食や献立コンクール等に取り組み、積極的に食育を実践されていることを高く評価する。学校給食献立コンクール参加者の大幅な増は、子どもたちの食への関心の高さを示していると思われる。 今後も、地域食材の掘り起こしなど、地域の新たな魅力創出の一助となる取組の展開を期待します。																					

シートNo.33【担当：スポーツ課】

事業名	地域スポーツの推進 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続												
内容	地域のスポーツ振興の活動の担い手である校区体育振興会や総合型地域スポーツクラブなどの活動を支援する。														
実施状況及び成果	<ul style="list-style-type: none"> 総合型地域スポーツクラブの拡充・支援推進事業（実） 総合型地域スポーツクラブに対して補助金を交付するとともに各種活動支援を行った。 【設立済クラブ】 音羽スポーツクラブ 会員数：264人 市補助金額（決算額）100千円 わすぽ一宮 会員数：169人 市補助金額（決算額）100千円 こざかいスポーツクラブ 会員数：146人 市補助金額（決算額）100千円 校区体育振興会助成事業 校区体育振興会に対して助成金を交付するとともに各種活動支援を行った。 校区体育振興会 26校区 市助成金額（決算額） 7,949千円 スポーツ指導者育成事業（実） 【ニュースポーツ出前教室】 （決算額）743千円 <table border="1" data-bbox="316 902 1114 1010"> <tr> <td></td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>4,492人</td> <td>4,263人</td> <td>5,657人</td> </tr> <tr> <td>講師派遣人数</td> <td>432人</td> <td>438人</td> <td>495人</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ウォーキング教室開催事業（実） たのしむ、こだわるウォーキング教室 全6回中5回開催（台風の影響で1回中止） 参加者数84人（決算額）85千円 （参考）はじめるウォーキング教室（保健センター） 全5回開催 参加者数114人 				H29	H30	R1	参加者数	4,492人	4,263人	5,657人	講師派遣人数	432人	438人	495人
	H29	H30	R1												
参加者数	4,492人	4,263人	5,657人												
講師派遣人数	432人	438人	495人												
決算額	平成29年度 8,897千円	平成30年度 9,008千円	令和元年度 9,077千円												
自己評価	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった </td> <td style="vertical-align: top;"> 総合型地域スポーツクラブの活動支援を含め、スポーツ推進委員や校区体育振興会と連携してニュースポーツ出前教室の開催など、地域におけるスポーツ活動に親しむ機会を多くの市民に提供することができた。 保健センターと連携したウォーキング教室を開催し、前年度を上回る参加者のもと、市民の関心が高く、気軽に始められるウォーキングの推奨を図った。 </td> </tr> </table>			<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	総合型地域スポーツクラブの活動支援を含め、スポーツ推進委員や校区体育振興会と連携してニュースポーツ出前教室の開催など、地域におけるスポーツ活動に親しむ機会を多くの市民に提供することができた。 保健センターと連携したウォーキング教室を開催し、前年度を上回る参加者のもと、市民の関心が高く、気軽に始められるウォーキングの推奨を図った。										
<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	総合型地域スポーツクラブの活動支援を含め、スポーツ推進委員や校区体育振興会と連携してニュースポーツ出前教室の開催など、地域におけるスポーツ活動に親しむ機会を多くの市民に提供することができた。 保健センターと連携したウォーキング教室を開催し、前年度を上回る参加者のもと、市民の関心が高く、気軽に始められるウォーキングの推奨を図った。														
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	地域に密着したスポーツ活動を支援することで、気軽にスポーツを楽しむことができる機会の確保に努める。 ウォーキング教室は、体育施設指定管理業務に移行して継続する。	<前年度における点検評価委員の主な意見> ウォーキング教室など市民の関心が高いものを新しく取り入れるなど、市民のスポーツ振興に積極的に取り組んでいることを高く評価する。 引き続き、市民のニーズに応えながら多くのスポーツ活動の充実に積極的に取り組んでいただきたい。												
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	地域の諸組織と連携を図りながら、積極的に市民スポーツ振興の推進に努力されていることを高く評価する。 気軽にできるウォーキング教室は、超高齢化社会に向けて、健康に関心を持ち、健康に努める高齢者の増加に寄与しており、継続して実施していただきたい。 スポーツの軸が学校から地域へ大きく移行する中、より円滑なスポーツ振興が図られるべく、多くの種目での若手指導者の発掘や育成に力を注いでいただきたい。													

シートNo.34 【担当：スポーツ課】

事業名	スポーツイベントの開催支援			新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他			
内容	豊川リレーマラソンやトヨカワシティマラソン大会などの開催を支援し、ボランティアスタッフの協力を得ながら、賑わいのあるイベントに育てていく。			
実施状況及び成果	・スポーツイベント開催支援事業（実） ゲストランナーを招いての豊川リレーマラソンやトヨカワシティマラソン大会を開催し、多くの参加を得ることができた。また、ボランティアスタッフの協力により、安心・安全な大会運営ができた。			
	【マラソンイベント参加者数】			
		H29	H30	R1
	豊川リレーマラソン	3,250人	3,491人	3,502人
トヨカワシティマラソン大会	2,506人	2,306人	2,429人	
【ボランティア数】				
	H29	H30	R1	
豊川リレーマラソン	132人	94人	105人	
トヨカワシティマラソン大会	504人	499人	469人	
決算額	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
	1,900 千円	2,900 千円	1,900 千円	
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	ゲストランナーの招聘や会場周辺でのブース出展の充実に努め、スポーツイベントにおける賑わいの創出が図られ、前年度を上回る参加者数が得られた。また、市内中高生を始めとした多くのボランティアの参加協力に努め、安全な大会運営ができた。		
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	リレーマラソンに加え、シティマラソン大会にもゲストランナーを招聘するとともに、更なる賑わいの創出に向けてブース出展等の充実に図り、魅力ある大会開催に努める。	<前年度における点検評価委員の主な意見> マラソンイベント参加者数が安定し、市内外の多くのランナーから支持を得ていることが分かる。 ボランティアの確保など課題も多いと考えるが、今後も安全な大会運営を続け、多くの参加者の期待に応え得る大会としていただきたい。	
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	豊川市を代表するイベントとして定着したマラソンイベントに対し、創意ある取組をもってより多くの支持を得たことは高く評価できる。 安全な大会運営を第一に、更なる充実発展に取り組んでいただきたい。また、新型コロナウイルス対策など、今後の開催方法等についてどうべきあるかも検討していく必要があると考える。		

シートNo.36【担当：スポーツ課】

事業名	トップレベルに触れる機会の充実		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他		
内容	トップレベルの競技者や指導者によるスポーツ教室や講演会などを開催するとともに、競技水準の高い大会や競技会などを誘致・開催する。		
実施状況及び成果	・トップアスリートふれあい交流事業（実） トップアスリートによるスポーツ教室などの開催を通じて、子どもを始め多くの市民がスポーツに触れて感動できる機会を提供した。 ・バレーボール教室 令和元年10月26日（土）102人参加 ・野球教室 令和2年1月4日（土）103人参加 ・カヌー教室 令和2年2月24日（月・祝）30人参加		
決算額	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	480千円	550千円	750千円
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	現役プロ野球選手を始めとしたトップアスリートを講師に招き、直接指導や実技披露など、トップレベルの技術や競技への取組姿勢などに触れることで、子どもたちの競技意識の向上やスポーツへの関心を高めることができた。	
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	スポーツ少年団やスポーツ協会加盟団体と連携を取りながら公募による教室開催などを含め、引き続き多くの市民がトップレベルのスポーツに触れる機会の提供に努める。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 一流のアスリートに接することは、技術はもとより選手の競技に対する姿勢など、多くのことを学ぶことができる。引き続き、いろいろな種目の選手を招待していただきたいが、講師の招へいも大変であるため、対象の子どもが変われば同じ講師でも良いのではないかと考える。
点検評価委員の 評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	子どもたちが、トップレベルのアスリートに接することは、大きな感動を得ることができ、スポーツに対する意識も変わると思う。一流アスリートの演技の『美しさ』が子どもたちに与える感動、競技に向かう真摯な姿勢など、この機会から得られるものの価値は図り知れない。引き続き、少しでも多くの種目で実施していただきたい。	

シートNo.37 【担当：中央図書館】

事業名	図書館資料の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続																								
内容	利用者のニーズに対応するため、各種図書館資料が充実するように、書籍や視聴覚資料等を計画的に購入し、多様な資料の収集に取り組む。																										
実施状況及び成果	<p>・図書等購入事業（実） 様々な方法で選書の参考になる情報を収集し、資料の充実と市民サービスの向上に取り組んだほか、図書館資料を計画的に購入し、利用者にさまざまな分野の資料や情報の提供を行った。</p> <p>【年度別図書館資料収集状況】</p> <table border="1" data-bbox="352 640 1150 887"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般書</td> <td>20,243 冊</td> <td>19,826 冊</td> <td>18,758 冊</td> </tr> <tr> <td>児童書</td> <td>5,656 冊</td> <td>5,709 冊</td> <td>5,311 冊</td> </tr> <tr> <td>視聴覚資料</td> <td>235 点</td> <td>272 点</td> <td>137 点</td> </tr> <tr> <td>新聞</td> <td>43 紙</td> <td>43 紙</td> <td>43 紙</td> </tr> <tr> <td>雑誌等</td> <td>392 誌</td> <td>392 誌</td> <td>383 誌</td> </tr> </tbody> </table>				H29	H30	R1	一般書	20,243 冊	19,826 冊	18,758 冊	児童書	5,656 冊	5,709 冊	5,311 冊	視聴覚資料	235 点	272 点	137 点	新聞	43 紙	43 紙	43 紙	雑誌等	392 誌	392 誌	383 誌
	H29	H30	R1																								
一般書	20,243 冊	19,826 冊	18,758 冊																								
児童書	5,656 冊	5,709 冊	5,311 冊																								
視聴覚資料	235 点	272 点	137 点																								
新聞	43 紙	43 紙	43 紙																								
雑誌等	392 誌	392 誌	383 誌																								
決算額	平成 29 年度 49,545 千円	平成 30 年度 49,619 千円	令和元年度 49,629 千円																								
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	様々な資料について、新聞・雑誌の書評欄や書評資料などから情報の収集をしたり、テレビ番組等で紹介された話題の本の情報をチェックするなどして、図書の収集、整備に努め、資料の充実を図ることができた。 市の職員から市民へのおすすめの本を紹介してもらったり利用者からのリクエストを選書の参考にすることで、図書資料の充実と市民サービスの向上に活かす取組を行うことができた。																									
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	多様な情報資料の選書や収集及びこれら資料の有効活用を継続していくために、専門性のある職員の体制についての調整を行う。 また、利用者の年々多様化するニーズを考慮しながら、限られた予算の中で、必要な資料の収集と提供を継続して行う。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 様々な情報の収集をしながら図書館資料が計画的に購入され、多様な資料が利用者に提供されていることを評価する。 今後も、市民の希望に応じた図書館資料及び情報資料の提供をしていただきたい。																								
点検評価委員の 評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	利用者のニーズに合わせた様々な情報を多方面から収集し、資料の充実やサービス向上に取り組んだ点は評価する。 引き続き、利用者のニーズに対応できるよう情報の収集に努め、図書、資料の充実を図っていただきたい。																									

シートNo.38 【担当：中央図書館】

事業名	電子図書館サービスの充実 <input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続																
内容	来館が困難な方を始め、多くの方に利用してもらえるように24時間利用が可能な「電子図書館サービス」を実施し、電子書籍を計画的に購入し、蔵書を充実させるとともに、特集コーナーや新着情報の整備など、利用しやすい管理運営に取り組む。																		
実施状況及び成果	来館が困難な方だけでなく、より多くの方に読書を楽しんでもらえるよう、中央図書館のコラボイベントに連携した特集を組むなどし、読書環境を整備し、適正な管理運営に努めた。 一昨年度から一括利用登録の申し込みがあった高校から、継続して新入生分の登録申込みを得られたほか、新人職員向けに電子図書館の周知啓発チラシを作成し、利用登録を増加することができた。 【電子図書館の状況】 <table border="1" data-bbox="319 672 1133 840"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29 年度末</th> <th>H30 年度末</th> <th>R1 年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用登録者数</td> <td>4,026 人</td> <td>5,818 人</td> <td>7,020 人</td> </tr> <tr> <td>コンテンツ数</td> <td>4,064 コンテンツ</td> <td>4,679 コンテンツ</td> <td>5,216 コンテンツ</td> </tr> <tr> <td>うち独自資料数</td> <td>5 コンテンツ</td> <td>5 コンテンツ</td> <td>5 コンテンツ</td> </tr> </tbody> </table> ※コンテンツ数は、お役立ち文庫3,010 を含まず。				H29 年度末	H30 年度末	R1 年度末	利用登録者数	4,026 人	5,818 人	7,020 人	コンテンツ数	4,064 コンテンツ	4,679 コンテンツ	5,216 コンテンツ	うち独自資料数	5 コンテンツ	5 コンテンツ	5 コンテンツ
	H29 年度末	H30 年度末	R1 年度末																
利用登録者数	4,026 人	5,818 人	7,020 人																
コンテンツ数	4,064 コンテンツ	4,679 コンテンツ	5,216 コンテンツ																
うち独自資料数	5 コンテンツ	5 コンテンツ	5 コンテンツ																
決算額	平成 29 年度 2,247 千円	平成 30 年度 2,247 千円	令和元年度 2,259 千円																
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	これまでの電子書籍の貸出傾向等を参考に、新規購入する電子書籍の選書を行うとともに、中央図書館で行う企画展示や各課とのコラボイベントと連携した特集ページを組んで紹介するなどの工夫をすることで、既登録者の利用の促進や新規登録者を増加することができた。																	
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	電子図書館の利用登録者数も増加し、利用も伸びていることなどから、今後も蔵書を増やしながらい電子図書館を継続できるよう関係部局と調整を行う。 今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため図書館の臨時休館を行ったが、臨時休館中でも電子図書館は利用できるため、利点を伝え、周知啓発を行い、利用登録者数の増加を図る。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 電子書籍は今後の図書館サービスの要となる事業でもあり、電子書籍の購入などサービスの充実発展を望む。																
点検評価委員の 評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	来館が困難な利用者に向けて電子図書館サービスの充実を図り、登録者が増えたことを評価する。 電子図書館の利用は、今後さらに増加されると思われる。引き続き、ニーズに応じた選書と計画的な購入を行い、サービスの充実に努めていただきたい。																	

シートNo.39【担当：庶務課】

事業名	防犯・防災設備の充実		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続							
	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他									
内容	緊急時の避難指示などを全教室へ一斉に伝達できる緊急通報装置付きインターカムシステムの整備を進めるとともに、関連設備や備品などの充実に取り組む。 児童生徒が安全で安心な学校生活を送ることができるよう環境を確保していくために、学校敷地周囲の囲障・門扉の設置や老朽化している防犯カメラの更新・増設工事を計画的に進める。									
実施状況及び成果	・防犯・安全対策調査事業（実） 児童生徒の安全確保や防犯対策として、令和元年度は防犯カメラ改修工事図面作成業務委託を実施した。 【決算額】 17,600 千円									
	・緊急通報装置付きインターカムシステムの整備 平成 29 年度から中学校への整備を開始し、令和元年度は東部中学校、中部中学校の 2 校において整備を実施した。 校内 LAN 配線を利用して整備を行うことで、インターホン専用配線の施工を伴う整備と比較して大幅にコストを抑えることが出来ている。 設置したシステムは、全教室へ一斉に緊急通報を行う機能を有することから、非常時における生徒の危険回避の誘導を迅速に行うことが可能となった。 【決算額】 8,856 千円 【インターホン整備状況】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>2 校</td> <td>2 校</td> <td>2 校</td> </tr> </table> ※小学校は、平成 28 年度完了				H29	H30	R1	中学校	2 校	2 校
	H29	H30	R1							
中学校	2 校	2 校	2 校							
決算額	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度							
	7,776 千円	8,775 千円	26,456 千円							
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった									
	小中学校 31 校の防犯カメラ改修工事図面作成業務委託を実施し、令和 2 年度以降の工事に向けた準備を進めることができた。その他の学校についても計画的に改修工事を実施し、安全で安心な学習環境の改善を図っていく。 インターカムシステムの整備については、既設の LAN 配線を利用することによりコストを抑え、計画的に機器の更新と緊急通報機能の追加を行うことができた。									
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	令和 2 年度は、小学校 10 校の防犯カメラの改修工事を予定しており、児童生徒の安全確保や防犯対策のため、早期に安全な環境が整えられるよう計画的な整備を行うとともに、工事に必要な予算を確保していく。 インターカムシステムの整備についても、各学校の配線設備の状況等を的確に把握しながら、計画的に整備を進める。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 防犯・防災等の緊急時の通報をいち早く確実に一斉指示ができるよう、老朽化したインターホン機能の更新等が計画的に行なわれていることを評価する。 教職員の危機管理意識の向上及びシステムの運用の訓練等を定期的に行い、構築されたシステムの効果的な運用に努めていただきたい。							
	点検評価委員の評価及び意見等 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	安全安心な学習環境構築のため、防犯カメラの設置やインターホンの整備更新事業が計画的かつ応用を加え実施されていることを高く評価する。引き続き、児童生徒の安全確保や防犯対策としての環境整備を計画的に進めていただきたい。 また、教職員の危機管理意識の向上やシステムの有効的運用に向け、研修及び訓練に取り組んでいただきたい。								

シートNo.40 【担当：学校給食課】

事業名	安全・安心な学校給食の提供			新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続															
	<input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他																		
内容	<p>① 学校給食における食中毒予防や食の安全を揺るがす諸問題への対応として、給食従事者に対する衛生講習会の実施、食材に関する情報収集や検査などにより、衛生管理と安全確保を徹底する。</p> <p>② 食物アレルギーを持つ児童生徒が、安心して給食を楽しめるような対応を進める。</p>																		
実施状況及び成果	<p>令和元年度は3名の給食従事者等がノロウイルスに感染したが、自己申告や検査による早期発見のため集団感染を防ぐことができた。</p> <p>給食用食材の安全確保のため、国指定の17都県産の食材について、(公財)愛知県学校給食会へ放射線量測定を依頼し、その結果を各食材の産地とともに市ホームページに掲載し安全性を周知した。</p> <p>食物アレルギーを持つ児童生徒の保護者に、献立におけるアレルギーに関する詳細な情報(詳細な献立表、加工食品アレルギー表示表、配合表)を提供した。また配布用の献立表のレイアウトを変更した。</p> <p>令和元年度は76人を卵アレルギー対応食の提供対象者と認定し、卵除去食を提供した。また令和2年度認定のための卵アレルギー対応食意見書料補助金を65人に交付した。</p>																		
	<p>【給食従事者食中毒発症状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ノロウイルス</td> <td>8人</td> <td>8人</td> <td>3人</td> <td>各年とも集団感染なし</td> </tr> <tr> <td>サルモネラ・O157等</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table>					H29	H30	R1	備考	ノロウイルス	8人	8人	3人	各年とも集団感染なし	サルモネラ・O157等	1人	0人	0人	〃
		H29	H30	R1	備考														
	ノロウイルス	8人	8人	3人	各年とも集団感染なし														
	サルモネラ・O157等	1人	0人	0人	〃														
<p>【給食用食材の放射線量測定検査状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検査件数</td> <td>20件</td> <td>18件</td> <td>15件</td> <td>各年とも異常なし</td> </tr> </tbody> </table>					H29	H30	R1	備考	検査件数	20件	18件	15件	各年とも異常なし						
	H29	H30	R1	備考															
検査件数	20件	18件	15件	各年とも異常なし															
<p>【卵除去食の提供認定者の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定者数</td> <td>63人</td> <td>73人</td> <td>76人</td> </tr> </tbody> </table>					H29	H30	R1	認定者数	63人	73人	76人								
	H29	H30	R1																
認定者数	63人	73人	76人																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>決算額</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>140千円</td> <td>142千円</td> <td>147千円</td> </tr> </tbody> </table>				決算額	平成29年度	平成30年度	令和元年度		140千円	142千円	147千円								
決算額	平成29年度	平成30年度	令和元年度																
	140千円	142千円	147千円																
自己評価	<p><input type="checkbox"/>期待を上回る成果を上げた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>期待通りの成果を上げた</p> <p><input type="checkbox"/>概ね期待通りの成果を上げた</p> <p><input type="checkbox"/>あまり成果を上げられなかった</p> <p><input type="checkbox"/>成果を上げられなかった</p> <p>給食従事者等に数名のノロウイルス感染が生じたが、自己申告や検査による早期発見、早期対応ができたため、集団感染の発生を防ぐことができた。卵除去食の提供は認定者数が増加したが、事故なく提供することができた。</p>																		
今後の方向性(令和2年度以降)	<p><input type="checkbox"/>拡充</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>継続</p> <p><input type="checkbox"/>見直し</p> <p><input type="checkbox"/>廃止</p> <p><input type="checkbox"/>完了</p> <p>重大な事故の発生を防ぐため、給食従事者に対する注意喚起、予防の啓発、正しい知識の習得を図る。</p> <p>卵除去食提供の検討に必要な医師からの意見書料に対する補助制度により保護者の負担軽減を図る。</p> <p>教育委員会・学校給食課・学校・児童生徒・保護者との連携の構築や情報の提供によりアレルギー対応に関する相互理解を深める。</p> <p><前年度における点検評価委員の主な意見> 命に関わる業務であることから、引き続き緊張感をもって多くの課題に対処していただきたい。また、安全安心な給食を提供するため食材を吟味していただくとともに、アレルギーに対する正しい知識の習得に努めていただきたい。</p>																		
点検評価委員の評価及び意見等	<p><input checked="" type="checkbox"/>良 好</p> <p><input type="checkbox"/>概ね良好</p> <p><input type="checkbox"/>要改善</p> <p>衛生面、健康管理、集団感染等に留意するなど、給食従事者としての自覚を高く持ち、積極的に研修等に取り組まれている点を高く評価する。また、献立におけるアレルギーに関する詳細情報を提供するなど、安全な給食の提供に努めている点を評価する。</p> <p>児童生徒の食に関わる情報収集や確認体制をより良いものとし、引き続き、安全安心な給食の提供に努めていただきたい。</p>																		

シートNo.41 【担当：学校給食課】

事業名	学校給食施設の整備・改修		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他		
内容	安全で安心な学校給食を提供するため、維持管理計画に基づき施設や設備、調理機器などの工事・修繕等を実施する。		
実施状況及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食センター長寿命化事業（実） <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食センター真空冷却機オーバーホール修繕 21,060 千円 ・学校給食センター食缶前処理機・システム食缶洗浄機購入費 29,700 千円 【その他の修繕】 <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食センターボイラー排水PH中和装置修繕料 4,832 千円 ・学校給食センター受水槽ポンプ室給水加圧ポンプユニット取替修繕料 2,838 千円 ・学校給食センター厨芥処理機スクリーンモーター修繕料 1,705 千円 ・南部学校給食センター洗浄室蒸気配管取替修繕料 1,847 千円 		
決算額	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
	72,728 千円	101,315 千円	78,018 千円
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	計画的な修繕等の実施により、給食提供停止に至る事故を発生させることなく給食を提供できた。 今後も定期的な保守点検業務を適正に実施し、施設や設備の計画的な更新に努める。	
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	施設の予防保全型管理の考え方や、保守点検の結果に基づき、豊川市学校給食センター施設等維持管理計画を年度ごとに改定する。 総合計画実施計画や当該年度の予算に基づき、修繕や更新を実施する。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 学校給食において、施設、設備の整備は安全・安心な給食の提供に必要不可欠であり、今後も計画的に修繕等を進めていただきたい。
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	児童生徒に安全安心な学校給食を提供するため、計画的に設備、調理機器などの修繕等がされている点は評価する。 常に施設整備の保守点検に留意し、児童生徒の楽しみである「給食」の安全安心の確保を第一に取り組んでいただきたい。	

シートNo.42【担当：学校教育課】

事業名	特色ある学校づくりの推進		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他		
内容	各小中学校区の住民や保護者、学識経験者などで構成する学校運営協議会が中心となり、地域の実情や特性を踏まえた特色ある学校づくりを進める。		
実施状況及び成果	・魅力ある学校づくり推進事業（実） 「魅力ある学校づくり推進事業」として、全小中学校で、学校の特色や地域の実情に合わせ、芸能活動、農業体験、自然体験等、幅広く地域や保護者の方を講師にお招きしたり、交流したりして、地域と連携した活動に取り組んだ。 各校にて、年間3～4回学校運営協議会を開催した。学校の実情や予算配当について説明するとともに、地域からの要望を踏まえた教育活動が充実するように協議を行った。 地域の実情を生かした特色ある活動が展開されるよう、中学校校区ごとに地域代表者会（地域実務担当者会）を開催し、防災に関わる行事や地域ボランティアの取組、通学の安全等について協議がなされた。 全小中学校が、地域と連携をしながら特色ある事業を実施することで、開かれた学校づくりや地域コミュニティの活性化につなげる取組を行うことができた。また、特色を打ち出す催しなどを実施したことで、子ども達にとって地域の魅力を知る機会となったり、学校や郷土への愛着を育む機会となったりすることができた。		
決算額	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
	9,720 千円	16,170 千円	16,103 千円
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	特色ある学校づくりとして、各学校の良さや伝統を生かした活動や行事を実施することができた。家庭や地域の期待も大きく、どの学校でも毎回多くの参観者が学校を訪れている。 今後も、その学校の良さや伝統を生かした特色ある学校づくりを推進するとともに、学校運営協議会など、地域の方や外部の方の意見や要望を取り入れ、学校教育の充実を図っていく必要がある。	
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	学校と、学校運営協議会や保護者・地域の方々と情報を共有し、連携して行事を行っていく中で、開かれた学校づくりを推進していく。 また、各中学校区で行われる地域代表者会を通して、小中学校の連携を図りながら、地域に愛着が持てる児童生徒の育成を目指す。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 地域の特色を生かした行事が推進され、学校、地域の連携が充実していることを評価する。 児童生徒は将来地域の担い手として活躍することから、風土を継承しながら地域と連携して行事を進めていただきたい。
点検評価委員の 評価及び 意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	各学校、地域の特色・伝統を生かした様々な行事を通じて家庭・地域・学校の連携が充実したものとなっている点を評価する。 児童生徒の安全や地域防災のため、地域の持つ力をより柔軟に取り入れられるよう開かれた学校づくりを進めていただきたい。また、引き続き、地域の良さを知る機会を作るなど、魅力ある学校づくりを推進して欲しい。	

シートNo.43【担当：庶務課】

事業名	学校サポーターによる学校支援		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																													
	<input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他																																															
内容	様々な知識や経験、技術を持つ地域住民が、学校サポーターとして登録し、草刈りや施設修繕、総合学習、部活動指導などをボランティアで支援する制度の活用を進める。																																															
実施状況及び成果	学校サポーターとして校舎敷地の清掃や本の読み聞かせ、図書室整備などのボランティア活動をしていただき、多くの地域の人々に学校とかかわりを持っていただくことができた。 活動事業費として、1校あたり消耗品費 20,000 円を各校へ配当し、サポーターの方々が活動の際に使用する事務用品や軍手、ゴミ袋、などの購入に充てた。 サポーターの募集や活動については、広報・ホームページ等により、広く周知した。 【サポーター新規登録者数】 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td></td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>43 人</td> <td>126 人</td> <td>32 人</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>38 人</td> <td>11 人</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>81 人</td> <td>137 人</td> <td>32 人</td> </tr> </table> 【サポーター制度活用校数・登録者数】 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td></td> <td colspan="2">H29</td> <td colspan="2">H30</td> <td colspan="2">R1</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>22 校</td> <td>598 人</td> <td>23 校</td> <td>567 人</td> <td>23 校</td> <td>597 人</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>6 校</td> <td>93 人</td> <td>6 校</td> <td>71 人</td> <td>6 校</td> <td>70 人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>28 校</td> <td>691 人</td> <td>29 校</td> <td>638 人</td> <td>29 校</td> <td>667 人</td> </tr> </table>					H29	H30	R1	小学校	43 人	126 人	32 人	中学校	38 人	11 人	0 人	合計	81 人	137 人	32 人		H29		H30		R1		小学校	22 校	598 人	23 校	567 人	23 校	597 人	中学校	6 校	93 人	6 校	71 人	6 校	70 人	合計	28 校	691 人	29 校	638 人	29 校	667 人
		H29	H30	R1																																												
小学校	43 人	126 人	32 人																																													
中学校	38 人	11 人	0 人																																													
合計	81 人	137 人	32 人																																													
	H29		H30		R1																																											
小学校	22 校	598 人	23 校	567 人	23 校	597 人																																										
中学校	6 校	93 人	6 校	71 人	6 校	70 人																																										
合計	28 校	691 人	29 校	638 人	29 校	667 人																																										
決算額	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度																																											
	小教 519 千円	中教 195 千円	小教 518 千円	中教 197 千円	小教 513 千円	中教 177 千円																																										
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった		32 人の学校サポーター新規登録があり、本の読み聞かせや図書整備、校舎敷地の清掃など、多くの地域の方々に支援をいただいた。 令和元年度は、市の広報紙に、地域ボランティアや学校サポーターの活動の特集記事として掲載したことにより、市民の方々にサポーターの活動を知っていただくとともに、募集についても広く周知することができた。																																													
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了		今後も継続して活動の掘り起こしや、活動事例の周知などにより、学校サポーター制度の活用促進を図る。		<前年度における点検評価委員の主な意見> 学校によって支援の内容も異なるため、学校が支援を求めている内容などの情報発信をしていただきたい。 多くの地域の人たちが、学校サポーターとして活動していることに感謝するとともに、引き続き地域の方々の支援が受けられるようにしていただきたい。																																											
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善		市の広報紙等を利用して制度の周知に努め、学校サポーターとして多くの地域住民から支援を得られていることを高く評価する。 児童生徒、教職員と地域の方々との有意義な交流の機会でもあるため、学校側の要望等も聞きながら、今後さらに多彩な支援を得られるよう取り組んでいただきたい。																																													

シートNo.44 【担当：学校教育課】

事業名	部活動の外部講師の活用												新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																																												
	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他																																																																								
内容	各中学校における部活動の実情に応じて専門的な技術指導ができる地域の指導者を招き、顧問の教職員の指導を支援することで、地域との連携による部活動の活性化に取り組む。																																																																								
実施状況及び成果	・部活動総合支援事業（実） 中学校において専門的な指導が必要であると要望のあった部活動に対し、知識、経験等をもった外部指導者を派遣した。 外部指導は1回あたり2時間の勤務としており、令和元年度は運動部活動25人、文化部活動5人の計30人を年間25回派遣した。 生徒からは「詳しくていねいに指導してもらえるので、うまくなった気がしてくる。」「時には、基礎トレーニングの方法やけがした時の休養方法まで教えてくれてとてもうれしい。」といった声が聞かれた。 部活動に参加している生徒や保護者の多くが専門的な指導を希望しているが、教職員数など人員に限りがあるため、中学校運動部活動の顧問の多くは未経験の部活動を指導している状況となっている。教師にとっても自信を持って指導を行うことにつながった。																																																																								
	【部活動別配置状況】 (単位：人) <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>野球</th> <th>サッカー</th> <th>陸上</th> <th>バレー</th> <th>バド</th> <th>テニス</th> <th>ソフト</th> <th>卓球</th> <th>剣道</th> <th>弓道</th> <th>柔道</th> <th>吹</th> <th>美</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>															野球	サッカー	陸上	バレー	バド	テニス	ソフト	卓球	剣道	弓道	柔道	吹	美	合計	H29	3	3	1	1	0	4	0	2	8	2	1	4	1	30	H30	3	3	1	2	0	5	0	2	6	3	0	4	1	30	R1	2	3	1	2	0	6	0	2	6	3	0	4	1
	野球	サッカー	陸上	バレー	バド	テニス	ソフト	卓球	剣道	弓道	柔道	吹	美	合計																																																											
H29	3	3	1	1	0	4	0	2	8	2	1	4	1	30																																																											
H30	3	3	1	2	0	5	0	2	6	3	0	4	1	30																																																											
R1	2	3	1	2	0	6	0	2	6	3	0	4	1	30																																																											
決算額	平成 29 年度				平成 30 年度				令和元年度																																																																
	2,430 千円				2,978 千円				2,850 千円																																																																
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった			部活動に参加している生徒や保護者の多くは、専門的な指導を受けられることを望んでいる。本事業が、運動部活動及び文化部活動に活用されたことで、技術面での上達に寄与することができた。また、教職員の負担軽減の一環としても、期待されている。 令和元年度は、前年度に引き続いて年間25回の指導により、生徒の技術向上において成果を上げた。																																																																					
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了			未経験の種目の部活動を顧問する教職員の指導技術の向上や負担軽減の観点からも、拡充が望まれている。 そのため、指導回数について増やしていくことを検討していく。				<前年度における点検評価委員の主な意見> 教職員の負担の軽減を図ることは、学校教育全体にゆとりをもたらすことに繋がっている。 専門的指導を希望している生徒や保護者も多いため、必要に応じて外部講師の増員をしていただきたい。																																																																	
点検評価委員の 評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善			外部講師の支援活用により、教職員の負担軽減、何より生徒や保護者の満足度を高められるなど、教育活動に与える効果は大である。 今後、部活動の地域への移行の流れなどを踏まえ、外部講師の発掘を含め、制度の一層の充実を図っていただきたい。																																																																					

シートNo.45【担当：庶務課】

事業名	老朽校舎などの計画的な整備			新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他			
内容	児童生徒が安全で安心な学校生活を送ることができる環境を確保していくために、学校施設整備計画等に基づき、老朽化が激しい校舎の改築や学校施設の長寿命化を図るための大規模改修、外壁改修などの整備を計画的に進める。			
実施状況及び成果	校舎の改修等を実施した。 ・小坂井東小学校校舎改修事業（実）／H29～R1 令和元年度は、H30 年度からの 2 ヶ年継続事業で実施した校舎の大規模改修工事を完了することが出来た。（継続事業） 【決算額】 H29 12,166 千円（実施設計） H30 211,623 千円（工事請負他） R1 270,004 千円（工事請負他） ・国府小学校校舎改修事業（実）／R1～ 【決算額】 R1 22,427 千円（用地測量、基本設計） ・一宮南部小学校校舎改修事業（実）／R1～ 【決算額】 R1 9,900 千円（基本計画） ・校舎外壁等改修事業（実）／H22～ 令和元年度は、一宮西部小学校と東部中学校の外壁等調査委託を実施した。 【決算額】 H29 156,009 千円（2校） H30 117,469 千円（2校） R1 6,844 千円（2校）			
決算額	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
	上記のとおり 千円	上記のとおり 千円	上記のとおり 千円	
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった			
今後の方向性（令和2年度以降）	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了			
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善			

シートNo.46【担当：庶務課】

事業名	学習環境の整備		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他		
内容	近年の猛暑対策として、空調設備設置を実施するとともに、老朽化が進む学校トイレの洋式化改修を実施することにより、児童・生徒が快適で衛生的な学校生活が送れるようにする。		
実施状況及び成果	児童生徒の学習環境や衛生環境面の改善を実施した。 ・小中学校空調設備整備事業（実）／H27～R1 令和元年度は、小学校 11 校の普通教室へ空調設備を整備した。（繰越分） 【決算額】 小学校 H29 30,343 千円 H30 1,055,187 千円 R1 610,573 千円 中学校 H29 698,651 千円 ・小中学校環境改善対策事業（実）／H26～ 令和元年度は、小学校 5 校（豊川小、中部小、八南小、平尾小、赤坂小）でトイレ改修を実施した。（繰越分及び図面作成） 【決算額】 小学校 H29 121,485 千円 H30 135,140 千円 R1 165,810 千円 中学校 H29 0 千円 H30 0 千円 R1 8,066 千円		
決算額	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
	上記のとおり 千円	上記のとおり 千円	上記のとおり 千円
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	小学校 11 校の普通教室へ空調設備の設置を実施し、夏までに全小中学校の普通教室への設置が完了した。また、小学校 5 校でトイレ改修工事を実施することができた。 空調設備設置やトイレ改修工事については、学校生活や行事等への影響を最小限に抑えるため、なるべく夏休みに集中して工事を行えるよう事前に調整を図りながら実施することができた。	
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	令和 2 年度は、小学校 1 校、中学校 7 校においてトイレ改修工事を予定しており、これで大規模改修工事として改修予定の 2 校を除く小中学校への整備が完了する。 衛生環境面の改善や生活環境の変化に対応し、良好な学習環境が整えられるよう計画的な整備を行うとともに、工事に必要な予算を確保していく。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 全小中学校へ空調設備が設置され、厳しい猛暑から児童生徒が守られるようになった。家庭環境の変化から、トイレの洋式化もできるだけ早く全小中学校で実施されることを期待する。
点検評価委員の 評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	他市に比べ早い段階で空調設備の設置が完了したことを高く評価する。また、時代の流れや、環境の変化に応じ、トイレの洋式化など教育環境の改善が周到な準備により実施されていることを評価する。 児童生徒にとって、学校が魅力あふれる場であるよう環境整備を更に進めていただきたい。	

シートNo.47【担当：庶務課】

事業名	教育用 I C T 機器などの整備			新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続									
	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他												
内容	<p>コンピュータ教室の機器の更新や教材ソフトの充実に取り組むことで、I C T 機器などを活用した教育環境の整備を進める。</p>												
実施状況及び成果	<p>学校のパソコン環境において、管理の効率化、障害に強い体制、高セキュリティを目的として導入している「シンクライアントシステム」について、環境維持と業務継続性を目的としたサーバの更新などを実施した。令和元年度は、Windows7 サポート終了に伴う教育用ノートパソコンの更新も行った。</p> <p>・学校 I C T 環境推進事業（実） 令和元年度、各種教科におけるグループ学習での活用を目的として、タブレット端末をモデル校 2 校に配置し、児童の情報活用能力の育成を図った。 決算額 5,281 千円</p> <p>【配備状況】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 40%;">R1</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東部小学校</td> <td>(児童用 10 台、教員用 1 台) × 2 セット</td> <td>中規模の小学校</td> </tr> <tr> <td>一宮南部小学校</td> <td>(児童用 10 台、教員用 1 台) × 1 セット</td> <td>小規模の小学校</td> </tr> </tbody> </table>					R1	備考	東部小学校	(児童用 10 台、教員用 1 台) × 2 セット	中規模の小学校	一宮南部小学校	(児童用 10 台、教員用 1 台) × 1 セット	小規模の小学校
		R1	備考										
東部小学校	(児童用 10 台、教員用 1 台) × 2 セット	中規模の小学校											
一宮南部小学校	(児童用 10 台、教員用 1 台) × 1 セット	小規模の小学校											
決算額	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度										
	小学校 26,750 千円 中学校 19,862 千円	小学校 33,853 千円 中学校 16,043 千円	小学校 42,414 千円 中学校 21,814 千円										
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	<p>学校 I C T 環境推進事業として、モデル校 2 校にタブレット端末を配備し、教職員に操作方法の研修を実施するなどして利用促進に努めた。</p> <p>グループ学習での活用を目的としていたため、台数が限られる中で、使い方を工夫して積極的に活用していただき、I C T を活用した学習活動の推進に寄与することができた。また、今後の全校整備に向けての有効な活用事例とすることができた。</p>											
今後の方向性(令和2年度以降)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	<p>文部科学省が進める G I G A スクール構想(児童生徒 1 人 1 台端末と高速ネットワーク環境の整備)の実現に向け、令和 2 年度に、市内全 36 小中学校の校内 L A N 整備を実施する。また、令和 2 年度から令和 3 年度にかけて全児童生徒分の学習者用端末及び普通教室分の指導者用端末を順次整備していく。</p>	<p><前年度における点検評価委員の主な意見> I C T 機器の進化に伴い、継続的な情報セキュリティの強靱化は欠かせない。教育用 I C T 機器の有効利用のため、引き続き環境整備を進めていただきたい。 次年度から、実施される学校 I C T 環境推進事業について、普通教室へのタブレット端末の整備等を計画的に実施していただきたい。</p>										
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	<p>I C T 機器導入に伴う教育環境整備の推進とともに、授業研究等の研修に積極的に取り組み、利用促進に努められた点を評価する。</p> <p>今後、I C T 機器の活用の際は、加速度的に拡大することが予想される。校内 L A N 整備や機器の導入に加えて、児童生徒、教職員の研修についても力を注いでいただきたい。</p>											

シートNo.48【担当：庶務課】

事業名	学校図書 の充実			新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続												
	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他															
内容	各小中学校の実情に応じた学校図書の充実を進める。															
実施状況及び成果	<p>・学校図書館整備事業（実） 全小中学校へ学校図書館図書購入費を配当することで、学校図書館の蔵書数の充実を図った。 児童生徒のニーズに応じた図書を整備し、巡回司書や学校司書等の活動により読書環境を整えることで、学校における学習活動の充実や児童生徒の読書意欲の向上に寄与した。 平成30年度からは、全小中学校で児童生徒用の新聞を1紙以上定期購入できるよう、新聞購入費の配当している。</p> <p>【学校図書整備状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>8,494 冊</td> <td>7,256 冊</td> <td>6,891 冊</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>5,113 冊</td> <td>4,843 冊</td> <td>5,220 冊</td> </tr> </tbody> </table>					H29	H30	R1	小学校	8,494 冊	7,256 冊	6,891 冊	中学校	5,113 冊	4,843 冊	5,220 冊
		H29	H30	R1												
小学校	8,494 冊	7,256 冊	6,891 冊													
中学校	5,113 冊	4,843 冊	5,220 冊													
決算額	平成29年度	平成30年度	令和元年度													
	小学校 8,034 千円 中学校 8,139 千円	小学校 8,040 千円 中学校 8,145 千円	小学校 8,100 千円 中学校 8,195 千円													
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	巡回司書や司書教諭、学校サポーター等の連携により、魅力ある図書館づくりや読書活動の推進が図られ、児童生徒の身近な読書活動の場である学校図書館が心地よい空間となることによって、読書意欲の向上、授業等の学習支援、情報活用能力を育むことに寄与した。														
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	児童生徒が正確な情報に触れる環境の整備の観点から、古くなった本を新しく更新することも進めていきながら、引き続き、児童生徒の発達段階やニーズに応じた図書を購入していく。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 継続して、読書環境の充実と巡回司書、司書教諭、学校サポーター等が協力し合い、魅力ある、楽しい学校図書館にしていきたい。 蔵書数については「学校図書館図書標準」の達成を目指していただきたい。													
点検評価委員の 評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	学校、巡回司書、ボランティア等が連携しながら、児童生徒の読書環境充実に向け、ニーズに応じた図書購入など着実に取り組まれている点を評価する。 学校図書館が、子どもたちにとって更に楽しく魅力的で心地良い場となるよう整備を進めていただきたい。														

シートNo.49【担当：生涯学習課】

事業名	子どもセンター事業の推進 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																																																																																								
内容	地域の大人の協力を得ながら、放課後子ども教室や子どもものづくり教室、親子ふれあい工房といった子どもセンター事業を展開する。																																																																																																										
実施状況及び成果	<p>・放課後子ども教室事業（実） 継続して、市内 26 小学校区で多彩な教室を開催した。</p> <p>・子どもものづくり教室 ボランティア指導員と豊川工業高校の生徒の手助けを受けながら電池とモーターで動くオリジナルのおもちゃをつくる講座を年 11 回開催した。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3 月開催分は中止）</p> <p>【放課後子ども教室参加登録数】（単位：人）</p> <table border="1" data-bbox="320 667 1299 1014"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一宮地区</td> <td>221</td> <td>208</td> <td>195</td> <td>桜木地区</td> <td>67</td> <td>49</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>音羽地区</td> <td>113</td> <td>112</td> <td>118</td> <td>平尾地区</td> <td>22</td> <td>10</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>御津地区</td> <td>160</td> <td>225</td> <td>224</td> <td>桜町地区</td> <td>89</td> <td>85</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>御油地区</td> <td>95</td> <td>88</td> <td>79</td> <td>天王地区</td> <td>25</td> <td>32</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>八南地区</td> <td>78</td> <td>93</td> <td>61</td> <td>三蔵子地区</td> <td>47</td> <td>35</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>国府地区</td> <td>42</td> <td>52</td> <td>52</td> <td>豊地区</td> <td>14</td> <td>20</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>小坂井地区</td> <td>148</td> <td>131</td> <td>133</td> <td>中部地区</td> <td>60</td> <td>55</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>豊川地区</td> <td>35</td> <td>68</td> <td>87</td> <td>千両地区</td> <td>20</td> <td>24</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>牛久保地区</td> <td>95</td> <td>64</td> <td>71</td> <td>東部地区</td> <td>36</td> <td>38</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>代田地区</td> <td>80</td> <td>85</td> <td>60</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>金屋地区</td> <td>60</td> <td>48</td> <td>47</td> <td>合計</td> <td>1,507</td> <td>1,522</td> <td>1,486</td> </tr> </tbody> </table> <p>【子どもものづくり教室受講者数】（単位：人）</p> <table border="1" data-bbox="320 1041 1257 1104"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子どもものづくり教室</td> <td>345</td> <td>317</td> <td>320</td> </tr> </tbody> </table>				H29	H30	R1		H29	H30	R1	一宮地区	221	208	195	桜木地区	67	49	55	音羽地区	113	112	118	平尾地区	22	10	8	御津地区	160	225	224	桜町地区	89	85	74	御油地区	95	88	79	天王地区	25	32	20	八南地区	78	93	61	三蔵子地区	47	35	56	国府地区	42	52	52	豊地区	14	20	10	小坂井地区	148	131	133	中部地区	60	55	76	豊川地区	35	68	87	千両地区	20	24	22	牛久保地区	95	64	71	東部地区	36	38	38	代田地区	80	85	60					金屋地区	60	48	47	合計	1,507	1,522	1,486		H29	H30	R1	子どもものづくり教室	345	317	320
	H29	H30	R1		H29	H30	R1																																																																																																				
一宮地区	221	208	195	桜木地区	67	49	55																																																																																																				
音羽地区	113	112	118	平尾地区	22	10	8																																																																																																				
御津地区	160	225	224	桜町地区	89	85	74																																																																																																				
御油地区	95	88	79	天王地区	25	32	20																																																																																																				
八南地区	78	93	61	三蔵子地区	47	35	56																																																																																																				
国府地区	42	52	52	豊地区	14	20	10																																																																																																				
小坂井地区	148	131	133	中部地区	60	55	76																																																																																																				
豊川地区	35	68	87	千両地区	20	24	22																																																																																																				
牛久保地区	95	64	71	東部地区	36	38	38																																																																																																				
代田地区	80	85	60																																																																																																								
金屋地区	60	48	47	合計	1,507	1,522	1,486																																																																																																				
	H29	H30	R1																																																																																																								
子どもものづくり教室	345	317	320																																																																																																								
決算額	平成 29 年度 6,028 千円	平成 30 年度 7,164 千円	令和元年度 6,817 千円																																																																																																								
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	<p>「放課後子ども教室」では、市内全小学校区での開催を継続し、参加児童数も一部、参加に関し抽選になるほど高い水準を維持できている。</p> <p>「子どもものづくり教室」では、おもちゃ作りに加え、参加児童に正しい道具の使い方の指導や最先端の科学技術についての解説等を行っており、参加児童数が安定してきている。</p>																																																																																																									
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	<p>「放課後子ども教室」では、地区によって教室数及び参加人数に差があるのが現状であり、地域差があるのが否めないため、引き続き新規講師の発掘や魅力ある教室の開催に努めていく。</p> <p>「子どもものづくり教室」では、さらに魅力ある教室となるよう、関係機関と連携を密にし検討を重ねていく。</p>	<p><前年度における点検評価委員の主な意見> 各小学校区で、「放課後子ども教室」事業による様々な教室が開催されていることは、地域の教育力の活用と、学校・家庭・地域の協力のもとで子どもたちを育てる教育の柱となるものであり、今後も充実させていただきたい。</p>																																																																																																								
点検評価委員の 評価及び 意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	<p>「放課後子ども教室」は実績に地域差が見られるものの、全小学校区で家庭・学校・地域の協力のもと、多彩な取組がなされている点を高く評価する。</p> <p>今後も、地域の人材発掘などに努め、より魅力的なものとなるべく取り組んでいただきたい。</p>																																																																																																									

シートNo.50【担当：生涯学習課】

事業名	子ども・若者への各種支援		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他																					
内容	豊川市子ども・若者支援地域協議会を中心として関係機関の連携を強化するとともに、少年愛護センターにおいて心理相談などの各種支援を実施する。																					
実施状況及び成果	・子ども・若者支援事業（実） 青少年育成市民会議の開催や少年愛護センターの運営を通して、各小学校区青少年健全育成推進協議会活動及び少年指導委員活動を促進し、青少年の健全育成を図った。 平成27年度に立ち上げた豊川市子ども・若者支援地域協議会を中心として関係機関を連携するとともに、少年愛護センターの相談活動に月2回の心理相談を加えるなど、困難を有する子ども・若者の支援に努めた。																					
	【相談等件数】 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>少年愛護センター一般相談件数</td> <td>161件</td> <td>113件</td> <td>191件</td> </tr> <tr> <td>少年愛護センター心理相談件数</td> <td>88件</td> <td>93件</td> <td>101件</td> </tr> <tr> <td>街頭指導回数</td> <td>6,283回</td> <td>6,956回</td> <td>9,261回</td> </tr> <tr> <td>街頭指導延参加人数</td> <td>16,394人</td> <td>15,396人</td> <td>18,177人</td> </tr> </tbody> </table>				H29	H30	R1	少年愛護センター一般相談件数	161件	113件	191件	少年愛護センター心理相談件数	88件	93件	101件	街頭指導回数	6,283回	6,956回	9,261回	街頭指導延参加人数	16,394人	15,396人
	H29	H30	R1																			
少年愛護センター一般相談件数	161件	113件	191件																			
少年愛護センター心理相談件数	88件	93件	101件																			
街頭指導回数	6,283回	6,956回	9,261回																			
街頭指導延参加人数	16,394人	15,396人	18,177人																			
決算額	平成29年度	平成30年度	令和元年度																			
	1,924千円	1,895千円	2,224千円																			
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった																					
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了																					
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善																					

シートNo.51 【担当：スポーツ課】

事業名	体育施設の整備		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																	
	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input type="checkbox"/> その他																																			
内容	体育施設を安全で快適に利用できるよう整備を行い、利用者の利便性を高める。また、老朽化した施設の長寿命化を計画的に進めるとともに、防災拠点としての安全性の確保に取り組む。																																			
実施状況及び成果	施設修繕、営繕工事及び備品購入により、施設を充実させることで、利用促進を図ることができた。 【決算額】 <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"><施設修繕料></td> <td style="width: 70%;">小坂井B&G海洋センター更衣室半自動ドア修繕</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">825千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>音羽運動公園水中フロア取替修繕</td> <td style="text-align: right;">869千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>総合体育館メインアリーナ倉庫レール等修繕</td> <td style="text-align: right;">2,408千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>総合体育館バスケットボード修繕</td> <td style="text-align: right;">930千円</td> </tr> <tr> <td><委託料></td> <td>・豊川公園街なか賑わい創出基盤整備事業（実） 市プール解体撤去工事実施設計委託</td> <td style="text-align: right; vertical-align: bottom;">3,135千円</td> </tr> <tr> <td><営繕工事費></td> <td>総合体育館空調設備取替工事</td> <td style="text-align: right;">22,304千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>総合体育館音響設備取替工事</td> <td style="text-align: right;">8,100千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小坂井B&G海洋センター外壁等改修工事</td> <td style="text-align: right;">40,370千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小坂井B&G海洋センター空調設備取替工事</td> <td style="text-align: right;">28,215千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>陸上競技場夜間照明塔設置工事</td> <td style="text-align: right;">66,998千円</td> </tr> <tr> <td><備品購入費></td> <td>施設予約システム用パソコン</td> <td style="text-align: right;">2,503千円</td> </tr> </table>			<施設修繕料>	小坂井B&G海洋センター更衣室半自動ドア修繕	825千円		音羽運動公園水中フロア取替修繕	869千円		総合体育館メインアリーナ倉庫レール等修繕	2,408千円		総合体育館バスケットボード修繕	930千円	<委託料>	・豊川公園街なか賑わい創出基盤整備事業（実） 市プール解体撤去工事実施設計委託	3,135千円	<営繕工事費>	総合体育館空調設備取替工事	22,304千円		総合体育館音響設備取替工事	8,100千円		小坂井B&G海洋センター外壁等改修工事	40,370千円		小坂井B&G海洋センター空調設備取替工事	28,215千円		陸上競技場夜間照明塔設置工事	66,998千円	<備品購入費>	施設予約システム用パソコン	2,503千円
<施設修繕料>	小坂井B&G海洋センター更衣室半自動ドア修繕	825千円																																		
	音羽運動公園水中フロア取替修繕	869千円																																		
	総合体育館メインアリーナ倉庫レール等修繕	2,408千円																																		
	総合体育館バスケットボード修繕	930千円																																		
<委託料>	・豊川公園街なか賑わい創出基盤整備事業（実） 市プール解体撤去工事実施設計委託	3,135千円																																		
<営繕工事費>	総合体育館空調設備取替工事	22,304千円																																		
	総合体育館音響設備取替工事	8,100千円																																		
	小坂井B&G海洋センター外壁等改修工事	40,370千円																																		
	小坂井B&G海洋センター空調設備取替工事	28,215千円																																		
	陸上競技場夜間照明塔設置工事	66,998千円																																		
<備品購入費>	施設予約システム用パソコン	2,503千円																																		
決算額	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度																																	
	73,414 千円	79,228 千円	187,058 千円																																	
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった																																			
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了		総合体育館空調設備取替工事を始め、老朽化した設備の改修や陸上競技場夜間照明塔の設置による夜間利用環境の改善など、体育施設利用者の利便性を高めることができた。また、用途廃止した市プールの解体撤去に向けた実施設計を作成することができた。																																	
点検評価委員の評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善																																			
	「スポーツを楽しむ」利用者が、安全で快適に施設を利用できるよう修繕等を実施し、利便性を高められた点を評価する。 市民にとってより身近な施設となるべく、利便性の追求のみならず、更なる安全安心の確保に努めていただきたい。また、常に利用者の立場に立って、日常の目配り・気配りを大切にしていきたい。																																			

シートNo.52【担当：生涯学習課】

事業名	生涯学習施設の活用 <input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続												
内容	プリオ生涯学習会館を核とする情報共有や連携、協力体制を強化し、生涯学習施設のネットワーク化を進める。生涯学習会館や公民館について、適正配置を踏まえた管理や活用を検討する。														
実施状況及び成果	各公民館及び各生涯学習会館の管理運営及び施設修繕等を実施し、市民の学習活動の場の提供に努めた。 【主な修繕】 ・豊川公民館 駐車場区画修繕 ・一宮生涯学習会館 集会室照明器具ランプ取替修繕 ・一宮生涯学習会館 自動ドア装置取替修繕 【施設利用人数】 <table border="1" data-bbox="323 705 1342 806"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>御油、牛久保、豊川、八南公民館</td> <td>85,189 人</td> <td>99,331 人</td> <td>93,683 人</td> </tr> <tr> <td>一宮、音羽、御津、小坂井、プリオ生涯学習会館</td> <td>150,166 人</td> <td>149,472 人</td> <td>149,860 人</td> </tr> </tbody> </table>				H29	H30	R1	御油、牛久保、豊川、八南公民館	85,189 人	99,331 人	93,683 人	一宮、音羽、御津、小坂井、プリオ生涯学習会館	150,166 人	149,472 人	149,860 人
	H29	H30	R1												
御油、牛久保、豊川、八南公民館	85,189 人	99,331 人	93,683 人												
一宮、音羽、御津、小坂井、プリオ生涯学習会館	150,166 人	149,472 人	149,860 人												
決算額	平成 29 年度 99,952 千円	平成 30 年度 96,297 千円	令和元年度 90,776 千円												
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	施設の修繕を行うことで、施設の安全性や利便性を高めることができた。施設利用人数は、昨年度に比べ減少したが、地域学習・活動拠点として引き続き利用されている。													
今後の方向性(令和2年度以降)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	令和3年度の小坂井地域交流会館(仮称)の竣工に伴い、小坂井生涯学習会館の引越しや備品購入、オープニングセレモニー等の準備を進める。 また、「豊川市公民館・生涯学習会館再編方針」及び「豊川市公民館営繕計画」に沿って再編・修繕を進める。	<前年度における点検評価委員の主な意見> 生涯学習会館や公民館は、地域の生涯学習の拠点として多くの市民が利用しており、また災害時の避難場所にもなるため、引き続き施設の安全性を重視して管理運営、施設修繕等を実施していただきたい。												
点検評価委員の評価及び意見等	<input type="checkbox"/> 良 好 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	「営繕計画」に則り、計画的に修繕等が取り組まれ、地域住民の方々の「学びの場」として、施設の安全性、利便性が高められている点を高く評価する。令和3年度完成予定の小坂井地域交流会館(仮称)がより多くの方に利用していただける施設となることを期待する。引き続き、地域の諸活動の拠点、何より防災の拠点として重要な役割を担う施設として確実な管理運営に努めていただきたい。													

シートNo.53【担当：中央図書館】

事業名	図書館施設などの整備 <input type="checkbox"/> 総合計画実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続								
内容	<p>老朽化している施設・設備の計画的な改修や、長寿命化方針の作成、新小坂井図書館の供用に向けた実施設計、ITを活用した先進的な機器や技術に関する調査研究等に取り組む。</p> <p>また、図書館を訪れなくても図書資料などの貸し出しや返却ができる配送サービスを継続するため、各サービスポイント（5か所）の関係部署や委託業者との連携を行う。</p>										
実施状況及び成果	<p>計画的な予防保全による維持管理費の削減、施設の長寿命化とコストの平準化、ライフサイクルコストの削減を図るため、中央図書館長寿命化計画を策定した。</p> <p>図書館の快適な環境の維持や利用者の安全性の向上のため、日常的な施設の維持管理に加え、階段と2階の手すり横のガラス部分に飛散防止フィルム貼りを行った。また、図書館の敷地内のブロックの敷き直し工事や、老朽化により不具合が頻発している地下自動書庫のメインリフターの制御等の更新工事を行った。</p> <p>老朽化により不具合が頻繁に発生している空調機器について、令和2年度に実施設計、令和3年度に更新工事が実施できるように基本設計を策定した。</p> <p>新小坂井図書館については、新たに必要となる書架や什器などについて精査し、予算要求を行った。</p> <p>【配送サービス：分館・公民館・蒲郡図書館】</p> <table border="1" data-bbox="316 855 1337 936"> <tr> <td></td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R 1</td> </tr> <tr> <td>配達冊数</td> <td>188,533 冊</td> <td>197,502 冊</td> <td>188,443 冊</td> </tr> </table>				H29	H30	R 1	配達冊数	188,533 冊	197,502 冊	188,443 冊
	H29	H30	R 1								
配達冊数	188,533 冊	197,502 冊	188,443 冊								
決算額	平成 29 年度 11,556 千円	平成 30 年度 313 千円	令和元年度 23,153 千円								
自己評価	<input type="checkbox"/> 期待を上回る成果を上げた <input checked="" type="checkbox"/> 期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> 概ね期待通りの成果を上げた <input type="checkbox"/> あまり成果を上げられなかった <input type="checkbox"/> 成果を上げられなかった	<p>空調設備取替工事の基本設計については、複数の工法案から費用対効果の最も大きいものを選択するなど最善の方針を決定することができた。中央図書館長寿命化計画は、今後の中長期的な施設修繕計画を定めることができた。</p> <p>地下自動書庫については高額な部品が多く、耐用年数を過ぎていた部品も数多くあり、限られた予算の中では優先度の高いものみの修繕に留まったため、依然として、別の箇所の故障がある。全体の故障回数の減少につながったとは言い切れない部分があるため、計画的な修繕が必要となっている。</p> <p>新小坂井図書館に関しては、購入する書架や什器について、複数のメーカーから見積もりを取り、適切な予算を要求することができた。</p>									
今後の方向性 (令和2年度以降)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	<p>空調設備取替工事及び屋上防水及び外壁改修工事については、どちらも実施設計の調整を行い、令和3年度に計画どおり工事が実施できるようにする。</p> <p>地下自動書庫については、毎年、多額の予算が必要となっており、数年後には機材の調達ができなくなることから、地下自動書庫の全面改修を含め、有り方の検討を行う。</p> <p>新小坂井図書館については、備品購入や引っ越しの計画などについて遺漏なく事務を進める。</p>	<p><前年度における点検評価委員の主な意見></p> <p>新小坂井図書館の開館に期待すると同時に、他の分館との利用環境のレベルの統一化が図られることを望む。ICタグ等についても調査・研究をしていただきたい。</p>								
点検評価委員の 評価及び意見等	<input checked="" type="checkbox"/> 良 好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 要改善	<p>利用者の利便性を高め、より良い読書環境を整えるべく、コスト意識をもって中長期的修繕計画を立てられたことを評価する。</p> <p>地下自動書庫については、応急処置の対応に終始せざるを得ない状況が伺え、抜本的な取組が必要と考える。</p> <p>新小坂井図書館は、誇り・魅力ある施設となるべく大きく期待している。</p>									

IV 点検・評価結果の集計

各評価シートの記載事項のうち、「点検評価委員の評価及び意見等」においては、「良好」、「概ね良好」、「要改善」の3段階で評価いただきました。

3段階評価の集計結果は、以下のとおりです。

<結果の集計表>

	良好	概ね良好	要改善	合計 (シート数)
基本目標 1	13	2	0	15
基本目標 2	13	0	0	13
基本目標 3	9	1	0	10
基本目標 4	14	1	0	15
合計 (評価集計)	49	4	0	53

V 目標指標の状況

第2期豊川市教育振興基本計画では、関係する数値を捉えた目標指標を施策ごとに設定し、計画期間前の実績値を基準としながら、計画期間の最終段階における目標値を定めています。

この目標値に対する達成度について、毎年度実施する点検・評価における一つの参考として改善に生かしながら、各施策の効果を高めていくことを目指しています。

基本目標1 豊かな心と健やかな体を育む教育を実現します

施策	目標指標の内容	計画期間前 の実績値	平成30 年度 評価時	令和元 年度 評価時	令和2 年度 評価時	令和3 年度 評価時	令和4 年度 評価時	目標値	
① 家庭教育・子育ての支援	「子どもを生き、育てる環境」市民満足度 市民意識調査の「子どもを生き、育てる環境」に関する満足の程度の間について、「満足」「まあ満足」と答えた人の割合。〔豊川市市民意識調査より〕	平成27年 値	平成29年 値	—	令和元年 値			令和3年 値	
		44.0%	47.7%	—	48.3%			53.0%	
② 道徳教育の充実	学校生活が楽しく充実していたと自己評価した児童生徒の割合 小学校5年生と中学校2年生を対象とする調査で、児童生徒が「生活面」について5段階で自己評価し、総合評価で4以上とした児童生徒の割合。〔学校教育課アンケートより〕	平成27年 値	平成30年 値	平成31年 値	令和2年 値			令和3年 値	
③ 人権教育の推進									
④ いじめ・不登校などへの対応									
⑤ 学校における体験活動の充実		64.2%	75.3%	73.4%	74.4%			72.0%	
⑥ 読書活動の推進	「読書好き」な子どもの割合 小学校4～6年生と中学校全学年、高校全学年を対象とする調査で、「とても好き」「好き」と答えた児童生徒の割合。〔中央図書館アンケートより〕	平成27年 値	—	—	—			令和2年 値	
		57.7%	—	—	—			62.7%	
⑦ 子どもの体づくりの推進	運動が好きな児童生徒の割合 小学校6年生と中学校2年生を対象とする教育振興に関するアンケート調査の「運動をすることが好きですか」の問いについて、「好き」「どちらかといえば好き」と答えた児童生徒の割合。〔庶務課アンケートより〕	平成27年 値	—	—	—			令和2年 値	
		小学	67.9%	—	—	—			70.4%
		中学	64.6%	—	—	—			67.1%
	朝食を食べない児童生徒の割合 小学校5年生と中学校2年生を対象とする食事と生活に関するアンケート調査の「朝食を食べているか」の問いについて、「食べない」「あまり食べない」と答えた児童生徒の割合。〔学校給食課アンケートより〕	平成28年 値	平成29年 値	平成30年 値	令和元年 値			令和3年 値	
小学		2.6%	1.9%	2.7%	2.1%			0.0%	
中学	4.5%	5.4%	6.3%	8.9%			0.0%		
⑧ 文化遺産の継承と新たな文化の創造	文化財保護の推進に満足している市民の割合 市民を対象とする教育振興に関するアンケート調査の「文化財保護の推進（地域の伝統継承事業の支援など）」に関する満足の程度の間について、「満足」「どちらかといえば満足」と答えた人の割合。〔庶務課アンケートより〕	平成27年 値	—	—	—			令和2年 値	
		32.5%	—	—	—			35.0%	

基本目標2 社会の変化に応える確かな学力を育成します

施策	目標指標の内容	計画期間前の実績値	平成30年度評価時	令和元年度評価時	令和2年度評価時	令和3年度評価時	令和4年度評価時	目標値	
① 楽しくわかる授業の実践	学習に意欲的に取り組んだと自己評価した児童生徒の割合 <small>小学校5年生と中学校2年生を対象とする調査で、児童生徒が「学習面」について5段階で自己評価し、総合評価で4以上とした児童生徒の割合。〔学校教育課アンケートより〕</small>	平成27年度値	平成30年度値	平成31年度値	令和2年度値			令和3年度値	
		50.9%	59.3%	56.2%	59.3%			59.0%	
② 英語教育の推進	外国語（英語ほか）を好きな児童生徒の割合 <small>小学校6年生と中学校2年生を対象とする教育振興に関するアンケート調査の「好きな教科」に関する問いについて、「外国語（英語ほか）」を選んだ児童生徒の割合。〔庶務課アンケートより〕</small>	平成27年度値	—	—	—			令和2年度値	
		小6	31.8%	—	—	—			34.3%
		中2	20.6%	—	—	—			23.1%
③ 理数教育の推進	理科、算数（数学）を好きな児童生徒の割合 <small>小学校6年生と中学校2年生を対象とする教育振興に関するアンケート調査の「好きな教科」に関する問いについて、「理科」「算数（数学）」を選んだ児童生徒の割合。〔庶務課アンケートより〕</small>	平成27年度値	—	—	—			令和2年度値	
		理科							
		小6	37.7%	—	—	—			40.2%
		中2	38.5%	—	—	—			41.0%
		算数（数学）							
		小6	40.0%	—	—	—			42.5%
④ 情報教育の充実	コンピュータ等の情報通信技術を活用した学習指導を実施する学校の割合 <small>全国学力・学習状況調査の学校質問紙の「コンピュータ等の情報通信技術を活用して、協働学習や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか」の問いについて、「よく行った」「どちらかと言えば行った」を選んだ小中学校の割合。〔全国学力・学習状況調査より〕</small>	平成27年度値	平成29年度値	平成30年度値	—			令和2年度値	
		小学	50.0%	76.9%	84.6%	—			70.0%
		中学	50.0%	30.0%	90.0%	—			70.0%
⑤ 環境教育・ESDの推進	ESDの視点に立った学習活動に取り組む学校の割合 <small>社会科や理科などの学習において、ESDの視点を取り入れた学習活動を行った小中学校の割合。〔学校教育課調査より〕</small>	平成27年度値	平成29年度値	—	—			令和2年度値	
		小学	46.2%	92.3%	—	—			66.2%
		中学	40.0%	90.0%	—	—			60.0%
⑥ 日本語指導が必要な児童生徒への教育の充実	日本語指導助手の人数 <small>小中学校において、日本語指導が必要な児童生徒の日本語指導や教科指導の補助などを行う日本語指導助手の数。〔学校教育課実績より〕</small>	平成27年度値	平成29年度値	平成30年度値	令和元年度値			令和2年度値	
10人	10人	10人	10人			10人			
⑦ 配慮が必要な児童生徒への対応の充実	学級運営支援員の人数 <small>小中学校において、安定した学級運営を支えるために配置する学級運営支援員の数。〔学校教育課実績より〕</small>	平成27年度値	平成29年度値	平成30年度値	令和元年度値			令和2年度値	
53人	64人	69人	74人			64人			
⑧ 進路指導の充実	将来つきたい職業がある児童生徒の割合 <small>小学校6年生と中学校2年生を対象とする教育振興に関するアンケート調査の「将来つきたい職業」に関する問いについて、つきたい職業が「ある」「何となくある」と答えた児童生徒の割合。〔庶務課アンケートより〕</small>	平成27年度値	—	—	—			令和2年度値	
		小6	84.3%	—	—	—			86.8%
		中2	74.2%	—	—	—			76.7%
⑨ 教職員のさらなる資質の向上	各種研修に参加した教職員数 <small>経験年数や課題、希望に応じて指導力、授業力、使命感などを高める各種研修に参加した教職員の人数。〔学校教育課実績より〕</small>	平成27年度値	平成29年度値	平成30年度値	令和元年度値			令和2年度値	
約1,100人	約1,600人	約1,700人	約1,700人			約1,200人			

基本目標3 豊かな人生を自らが築く生涯学習社会を確立します

施策	目標指標の内容	計画期間 前の 実績値	平成30 年度 評価時	令和元 年度 評価時	令和2 年度 評価時	令和3 年度 評価時	令和4 年度 評価時	目標値
① 生涯学習 の振興	生涯学習活動を行っている市民の割合 市民意識調査で何らかの生涯学習活動を行っていると感じた人の割合。〔豊川市市民意識調査より〕	平成27年 値	平成29年 値	—	令和元年 値			令和3年 値
		60.5%	58.2%	—	58.8%			63.0%
	プラネタリウムの入場者数 ジオスペース館のプラネタリウムに入場した年間延べ人数。〔中央図書館実績より〕	平成27年 度値	平成29年 度値	平成30年 度値	令和元年 度値			令和2年 度値
		10,829人	12,675人	12,698人	11,851人			11,840 人
② 生涯の健康を支える力の育成	定期的な健康診断を受け、健康管理に努めている市民の割合 市民意識調査の「健康維持や増進のための心掛け」に関する問いについて、「定期的な健康診断を受け、健康管理に努めている」と答えた人の割合。〔豊川市市民意識調査より〕	平成27年 値	平成29年 値	—	令和元年 値			令和3年 値
		46.9%	46.9%	—	49.3%			48.0%
③ 生涯スポーツの振興	週1日以上スポーツや運動をしている市民の割合 市民意識調査の「スポーツや運動の頻度」について、「毎日」「週3～4日程度」「週1～2日程度」と答えた人の割合。〔豊川市市民意識調査より〕	平成27年 値	平成29年 値	—	令和元年 値			令和3年 値
		41.6%	39.5%	—	44.4%			54.0%
④ 図書館サービスの充実	市民1人当たりの図書等貸出冊数 年間の図書等貸出冊数を10月1日現在の推計人口で割って算出した冊数。読書に親しむ市民が増えることを目指す指標です。〔中央図書館実績より〕	平成27年 度値	平成29年 度値	平成30年 度値	令和元年 度値			令和2年 度値
		7.0冊	6.9冊	6.8冊	6.9冊			10.0冊

基本目標 4 魅力ある教育環境づくりを進めます

施策	目標指標の内容	計画期間 前の 実績値	平成 30 年度 評価時	令和元 年度 評価時	令和 2 年度 評価時	令和 3 年度 評価時	令和 4 年度 評価時	目標値
① 児童生徒の安全・安心の確保	児童生徒の安全・安心の確保に満足している市民の割合 市民を対象とする教育振興に関するアンケート調査の「児童生徒の安全・安心の確保」に関する満足の程度の問いについて、「満足」「どちらかといえば満足」と答えた人の割合。〔庶務課アンケートより〕	平成 27 年度 値	—	—	—			令和 2 年度 値
		47.0%	—	—	—			49.5%
	給食の残食率 全小中学校を対象に実施している調査で、提供したおかずの全体量に対する残食の割合。〔学校給食課実績より〕	平成 27 年度 値	平成 29 年度 値	平成 30 年度 値	令和元年度 値			令和 2 年度 値
		2.5%	2.2%	2.0%	3.6%			2.3%
② 開かれた学校づくりを目指す教育活動	「学校とかかわりを持っていきたい」と思っている市民の割合 市民意識調査で「学校とかかわり」について、「積極的にかかわりを持っていきたい」「どちらかといえばかかわりを持っていきたい」と答えた人の割合。〔豊川市市民意識調査より〕	平成 27 年度 値	平成 30 年度 値	—	令和元年度 値			令和 3 年度 値
		53.9%	49.8%	—	49.3%			56.0%
	学校サポーター登録者数 小中学校の草刈や施設修繕、総合学習、部活動指導などをボランティアで支援する学校サポーターの登録者数。〔庶務課実績より〕	平成 27 年度 度値	平成 29 年度 度値	平成 30 年度 度値	令和元年度 度値			令和 2 年度 度値
		576 人	691 人	638 人	667 人			600 人
③ 学校教育環境の整備	学校教育環境などの整備・充実に満足している市民の割合 市民を対象とする教育振興に関するアンケート調査の「学校教育環境などの整備・充実」に関する満足の程度の問いについて、「満足」「どちらかといえば満足」と答えた人の割合。〔庶務課アンケートより〕	平成 27 年度 値	—	—	—			令和 2 年度 値
		28.5%	—	—	—			31.0%
	学校トイレの洋式化率と普通教室の空調設備整備率 小中学校校舎において、洋式化されたトイレの割合と、空調設備が整備された普通教室の割合。〔庶務課実績より〕	平成 27 年度 度値	平成 29 年度 度値	平成 30 年度 度値	令和元年度 度値			令和 2 年度 度値
		32.3%	46.7%	50.6%	55.2%			70.0%
		0.0%	33.3%	66.6%	100.0%			100.0%
④ 地域教育力の向上支援	「青少年の育成・支援」市民満足度 市民意識調査の「青少年の育成・支援」に関する満足の程度の問いについて、「満足」「まあ満足」と答えた人の割合。〔豊川市市民意識調査より〕	平成 27 年度 値	平成 29 年度 値	—	令和元年度 値			令和 3 年度 値
		28.1%	31.9%	—	31.9%			34.0%
	少年愛護センターにおける相談支援件数 少年愛護センターにおける一般相談件数と心理相談件数の合計。〔生涯学習課実績より〕	平成 27 年度 度値	平成 29 年度 度値	平成 30 年度 度値	令和元年度 度値			令和 2 年度 度値
		321 件	249 件	206 件	292 件			350 件
⑤ スポーツ環境の整備	体育施設の利用者数 市体育施設の年間延べ利用者数。〔スポーツ課実績より〕	平成 27 年度 度値	平成 29 年度 度値	平成 30 年度 度値	令和元年度 度値			令和 2 年度 度値
		1,340,950 人	1,292,764 人	1,213,118 人	1,176,133 人			1,390,000 人
	学校体育施設開放の利用者数 小中学校の体育施設開放における年間延べ利用者数。〔スポーツ課実績より〕	平成 27 年度 度値	平成 29 年度 度値	平成 30 年度 度値	令和元年度 度値			令和 2 年度 度値
	405,864 人	397,081 人	387,729 人	392,486 人			430,000 人	
⑥ 生涯学習環境の整備	生涯学習会館の利用者数 市内 5 館の年間延べ利用者数。〔生涯学習課実績より〕	平成 27 年度 度値	平成 29 年度 度値	平成 30 年度 度値	令和元年度 度値			令和 2 年度 度値
		151,446 人	150,166 人	149,472 人	149,860 人			155,000 人
	公民館の利用者数 市内 4 館の年間延べ利用者数。公民館が多く市民に有効活用されることを目指す指標です。〔生涯学習課実績より〕	平成 27 年度 度値	平成 29 年度 度値	平成 30 年度 度値	令和元年度 度値			令和 2 年度 度値
	87,999 人	85,189 人	99,331 人	93,683 人			90,000 人	
⑦ 読書環境の充実	図書館の来館者数 図書館の年間延べ来館者数。〔中央図書館実績より〕	平成 27 年度 度値	平成 29 年度 度値	平成 30 年度 度値	令和元年度 度値			令和 2 年度 度値
		637,974 人	660,487 人	678,341 人	619,269 人			650,000 人

VI 参考資料

1 教育委員会会議

教育委員会会議は、毎月1回定例会を開催するほか、必要に応じて臨時会を開催しており、令和元年度においては、次のとおり会議を開催し、審議を行いました。

4月定例会（平成31年4月23日開催）

議案	1 教職員の任用について
報告	1 平成30年度教育委員会の組織目標に対する結果及び平成31年度教育委員会の組織目標について 2 豊川市社会教育審議会による調査・研究報告「学びを生かしたまちづくり家庭・学校・地域の連携」報告書について

5月定例会（令和元年5月21日開催）

議案	1 教職員の任用について 2 豊川市社会教育委員の委嘱について 3 消費税率及び地方消費税率の改定に伴う教育委員会関係条例の整備に関する条例の制定について 4 豊川市プール施設条例の一部改正について 5 令和元年度6月補正予算について
報告	1 第2期豊川市スポーツ振興計画（仮称）について 2 「豊川海軍工廠平和公園内残存遺構保存整備事業報告書」及び「豊川海軍工廠平和公園・豊川市平和交流館 2018年度の記録」について

6月定例会（令和元年6月18日開催）

議案	1 教職員の任用について
報告	1 改正民法成立に伴う、今後の新成人祝賀会のあり方について 2 教職員の人事に係る内申について

7月定例会（令和元年7月23日開催）

議案	1 教職員の任用について 2 令和2年度使用教科用図書採択について
報告	1 令和元年6月定例市議会における教育問題について 2 平成30年度教育委員会事務の点検・評価に係る自己評価について

8月定例会（令和元年8月16日開催）

議案	1 平成30年度教育委員会決算について 2 令和元年度9月補正予算について 3 教職員の任用について 4 豊川市立小・中学校通学区域審議会への諮問事項について
----	--

9月定例会（令和元年9月27日開催）

議案	1 教職員の任用について 2 令和2年度教職員定期人事異動方針について 3 豊川市文化財保護審議会への諮問事項について 4 豊川市教育委員会傍聴規則の一部改正について
報告	1 令和元年9月定例市議会における教育問題について 2 第2期豊川市スポーツ振興計画（仮称）について

10月定例会（令和元年10月18日開催）

議案	1 教職員の任用について 2 平成30年度教育委員会事務の点検・評価報告書について
----	--

11月定例会（令和元年11月19日開催）

議案	1 豊川市立小・中学校通学区域審議会の答申について 2 教育委員会が所管する公の施設に係る指定管理者の指定について 3 豊川市体育施設条例の一部改正について 4 豊川市プール施設条例の一部改正について 5 令和元年度12月補正予算について 6 教職員の任用について
報告	1 令和2年度教育委員会予算見積書について 2 平成30年度監査委員指摘事項及び措置状況等について 3 第2期豊川市スポーツ振興計画（案）について

12月定例会（令和元年12月19日開催）

議案	1 教職員の任用について 2 豊川市立小・中学校の通学区域に関する規則の一部改正について 3 天然記念物の指定解除について 4 史跡指定地の一部指定解除について
報告	1 令和元年12月定例市議会における教育問題について

1月定例会（令和2年1月17日開催）

議案	1 教職員の任用について 2 豊川市立小・中学校の通学区域に関する規則の一部改正について
----	---

2月定例会（令和2年2月14日開催）

議案	1 教職員の任用について 2 令和2年度教育委員会の予算概要及び主要事業について 3 令和元年度3月補正予算について 4 第2期豊川市スポーツ振興計画の策定について 5 社会教育審議会への諮問事項について
報告	1 豊川市公民館・生涯学習会館再編方針（案）について

3月臨時会（令和2年3月12日開催）

議案	1 教職員の任用について 2 令和2年度教職員の人事異動について
----	-------------------------------------

3月定例会（令和2年3月24日開催）

議案	<ol style="list-style-type: none">1 令和2年度教育委員会職員の人事異動について2 令和2年度における豊川市図書館の休館日について3 豊川市文化財保護審議会委員の委嘱について4 豊川市社会教育審議会の答申について
報告	<ol style="list-style-type: none">1 令和元年度3月補正予算について2 部活動指導ガイドライン（案）について

豊川市教育振興基本計画 (概要版)

第2期

(平成29年度～平成33年度)

基本理念

ともに学び 生きる力を育み 未来を拓く豊川の人づくり

「ともに学び」は、人々が生涯にわたり、家庭や地域、学校といたってそれぞれの場で関わり合い、互いの人格を尊重しながら幅広い知識や考え方を学び合う主体的な活動と、それを支える教育のあり方を示しています。

「生きる力を育み」は、人々が社会の変化に対応しながらたくましく生きていくための豊かな人間性、社会性を育む主体的な活動と、それを支える教育のあり方を示しています。

そして、「未来を拓く豊川の人づくり」は、人々がともに学び、生きる力を育む中で、生きる喜びを感じながら支え合って生きていく明るい「未来（社会）を（切り）拓く人」を育成するという、豊川市の教育が目指す方向性を示しています。

自分と他者を大切にする人

命をしっかり支え、心と体をつちかい、未来に向かう自分の人生を大切にす
る人、また、共生社会の一員として他者の存在や個性を大切にす
るやさしさに満ちた人の育成を目指します。

基本理念で目指す人間像

粘り強く挑戦する人

社会の発展を支えてきた先人の努力や精神を受け継ぎながら、自ら進んで、様々なことに粘り強く挑戦する人の育成を目指します。

生涯にわたって学び続ける人

豊かな自然に囲まれ、歴史と文化が息づく豊川市の恵まれた環境の中で、生涯にわたって健康づくりに励みながら、自分の成長を信じて学び続ける人の育成を目指します。

基本理念を実現するための基本目標

- 基本目標1 豊かな心と健やかな体を育む教育を実現します
- 基本目標2 社会の変化に応える確かな学力を育成します
- 基本目標3 豊かな人生を自らが楽しく生涯学習社会を確立します
- 基本目標4 魅力ある教育環境づくりを進めます

1 計画策定の趣旨

日本の社会情勢は、少子高齢化の進行や人口減少、高度情報化や社会経済のグローバル化の進展を受け、大きく変動を続けています。教育を取り巻く環境においては、子どもの体力づくりやいじめ・不登校の問題など、従前からの課題に加え、スマートフォンの急速な普及に対応するための情報モラル教育、経済的な困難を抱える家庭の子どもへの対応など、新たな課題を踏まえた取組が求められています。

今後も社会の動きは常に変化することが想定される中、教育分野の課題やニーズに対応していくため、総合的な施策の展開が一層重要となっています。

そこで、今後の教育行政の方向性を家庭や地域、学校、行政が共有し、一体となって豊川の人づくりを推進していくための新たな指針として、「第2期豊川市教育振興基本計画」を策定します。

2 計画の位置づけ

この計画は、教育基本法第17条第2項の規定に基づく本市の教育振興のための施策に関する基本的な計画であり、第6次豊川市総合計画を上位計画とし、各種計画と連携する教育分野の総合的な計画です。

3 計画の期間

この計画の期間は、平成29年度から平成33年度までの5か年とし、未来を見据えた人づくりを進めていきます。

4 施策の展開にあたっての視点

基本目標に基づき施策を効果的に展開していくにあたり、必要と捉える視点を示します。

- (1) 家庭、地域、学校、行政の役割と連携
- (2) 各行政機関の連携
- (3) 質の高い教育の実現に向けた人材・財源の効果的な投入
- (4) 教育施設の適正な管理

5 計画の進行管理

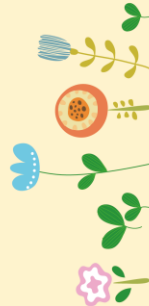
計画の進行管理として、計画（Plan）→実施（Do）→点検・評価（Check）→改善（Action）のPDCAサイクルにより、点検・評価の結果と改善すべき内容を反映しながら、各施策の取組を進めていきます。

豊川市教育委員会

〒441-0292 愛知県豊川市赤坂町松本250番地

電話：0533-88-8032 F A X：0533-88-8038

E-mail：kyoikushomu@city.toyokawa.lg.jp



第2期豊川市教育振興基本計画の全体像

基本理念

ともに学び
生きる力を育み
未来を拓く豊川の人づくり

人間像

- 自分と他者を大切にできる人
- 粘り強く挑戦できる人
- 生涯にわたって学び続ける人



基本目標	施策	施策の展開（主な取組）
1 豊かな心と健やかな体を育む教育を実現します	① 家庭教育・子育てへの支援 ② 道徳教育の充実 ③ 人権教育の推進 ④ いじめ・不登校などへの対応 ⑤ 学校における体験活動の充実 ⑥ 読書活動の推進 ⑦ 子どもの体づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭教育活動の支援 ○妊婦期における妊婦などへの支援 ○子育て支援活動の実施 ○私立幼稚園訪問の奨励 ○心の教育活動の推進 ○豊川市小中学校人権教育研究会の充実 ○人権尊重意識の啓発 ○早期発見・早期対応に向けた取組の推進 ○通称指導教室「さくらんぼ」における支援 ○異年齢との交流活動の実施 ○子どもの文化芸術体験機会の提供 ○朝の読書活動の充実 ○子ども読書活動の推進 ○「絵本の読み聞かせ」の実施 ○学校体育の充実 ○食に関する指導の充実 ○文化遺産の継承・活用の環境づくり ○平和学習の推進
2 社会の変化に応える豊かな学力を育成します	① 楽しくわかる授業の実践 ② 英語教育の推進 ③ 理数教育の推進 ④ 情報教育の充実 ⑤ 環境教育・E S Dの推進 ⑥ 日本語指導が必要な児童生徒への教育の充実 ⑦ 配慮が必要な児童生徒への対応の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○授業研究の推進 ○英語指導助手の配置 ○理科教育への関心を高める授業の実施 ○ICT機器を活用した授業の充実 ○E S Dの観点に基づいた学習活動の推進 ○緑のカーテン事業の実施 ○拠点校における日本語教育の実施 ○就学指導・相談体制の整備 ○特別支援教育支援員の配置 ○学習支援の実施 ○小学校からのキャリア教育の実施 ○教職研修の充実 ○とよかわオープンカレッジの育成・支援 ○学習成果の発表の場の充実 ○地域情報の収集・活用 ○地域とつながる食育の推進 ○地域スポーツの振興 ○トップレベルに触れる機会の充実 ○図書館資料の充実 ○防災教育の推進 ○学校施設における消防防止フィルム貼付 ○学校給食施設整備の整備・改修 ○特色ある学校づくりの推進 ○学校サポーターによる支援 ○老朽校舎などの計画的な整備 ○学習環境における情報機器の活用 ○子どもセンター事業の推進 ○学校給食における家庭・地域との連携 ○体育施設の整備 ○生涯学習施設の利用 ○図書館と学校などとの連携強化の推進
3 豊かな人生を自ら築く生涯学習社会を確立します	① 生涯学習の振興 ② 生涯の健康を支える力の育成 ③ 生涯スポーツの振興 ④ 図書館サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習情報の整理と発信 ○ジョinspaceを活用した学習支援 ○健康づくり意識の啓発 ○スポーツ選手・団体への活動支援 ○「図書館検定」の実施 ○学校安全緊急情報共有化広域ネットワークの活用 ○安全・安心な学校給食の提供 ○学校からの情報発信 ○部活動の外部講師の活用 ○小学校遊具の整備 ○学校図書員の充実 ○子ども・若者への各種支援 ○学校体育施設の開放推進
4 魅力ある教育環境づくりを進めます	① 児童生徒の安全・安心の確保 ② 開かれた学校づくりを目指す教育活動 ③ 学校教育環境の整備 ④ 地域教育力の向上支援 ⑤ スポーツ環境の整備 ⑥ 生涯学習環境の整備 ⑦ 読書環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○電子図書館サービスの充実 ○交通安全教育の推進 ○防犯・防災設備の充実 ○登下校時の見守り活動の推進 ○学校の日の開催 ○学校評価の公表 ○学習環境の整備 ○教育用ICT機器などの整備 ○青少年健全育成活動の支援 ○子育て支援センター機能の充実 ○体育施設の適正な管理運営 ○高等教育機関との連携 ○図書館と学校などとの連携強化の推進

**令和元年度
教育委員会事務の点検・評価報告書**

発行：令和2年10月

編集：豊川市教育委員会

〒441-0292

豊川市赤坂町松本250番地

TEL：0533-88-8032

FAX：0533-88-8038